

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

31

厚生課通達

購買課

国立公文書館

分類

② ③

配架番号

3 A

14

13 1

厚 生 欲 長

官艦ニ關スル昭和二十一年度海軍戰時召集豫候補者調査並度候補費課
海軍員海軍關係者ヲ左記様式ニ依リ記入ノ上折返シ御回答相煩度
貴生處上記對不可缺ナル技術者（豫備役士官ヲ除ク）有之候ハバ赤丸及
原直ヲ附サレ度ク、海軍在籍軍人ナキ場合ハ本用紙へ其ノ旨ヲ記載御返

記

[illegible]

厚生課

各部課長殿

豚汁給食件

從前其子素、爲ノ犒ヲメ鹽理官殿前長殿ノ思召アリ
全員ニ對シ左記ニヨリ豚汁ヲ給與スルコトニ相成リ候間此旨
貴課全員ニ周知徹底セシメテ度ク候也

記

一、喫食場所

工賃食堂
更衣室

一、給與方法

別記日程ニヨリ書意愈時名課別ニ課長
以下全頁ニ給契ス

注意事項

當付朝礼後直ニ給ふ人負敬ヲ有テ生課ニ通報スコト
課長印ヲ要ス

思食以明心後卷十一子十名教課三合與易

貴課ニ食堂ニ差出スコト
 夜勤者ニ對シテハ後日一括給與ス
 計費ハ貴課ニ於テ用意ス
 破損物等々ハ各課長ニ於テ責任ヲ持タ度シ
 給食期間中ニ扶養生ハ晝食ハ各現場ニ於テナスコト

七月三十日 第七課 第十課
 八月一日 第一課 十一工場 治材
 八月二日 第三課
 八月三日 第四課

工作部 工務
 検査部 防衛課 民務課
 公休日
 六日 運輸課 倉庫
 七日 男子學徒 男子養成工 現在未配属者
 八日 女子學徒 女子養成工 現在未配属者
 九日 庶務 會計 購買 厚生部
 十日 夜勤者

昭和二十年七月三十日

各部課長殿

厚生課 産報係

産報音樂挺身隊ニ関スル件

首題ノ件ニ関シテハ七月九日付ヨリ以テ貴課通達達済既ニ趣旨御諒承事ト存ジマス就キマシテハ講師並練習時間等左記ニ決定致シ表ル八月三日ハ水曜日ヨリ練習開始致スコト相成リマシタ故テ不足ノ際ハ在リマスハ練習当日ハ何九十 銜援助給リ度ニ存ジマス

講師

設備課 豊島技師
 中津縣立高女教諭服部スズ子

音樂挺身隊長

厚生部長 中井一夫
 副隊長 厚生課長 植木勝

小隊長

厚生課 城田隆子

分隊長

庶務課 山中道子
 勤務課 宮瀬登子

練習日

合唱隊 每週二四水金曜日 午前七時半ヨリ十時半
 鼓笛隊 每週二四水金曜日 午前七時半ヨリ十時半

練習場所

講堂

八面泰定ニ對シ畫合給與ノ件ト
 一面泰定ニ對シテ記東領ニ依リ畫合ヲ給スルコトニ致シ
 間何事ヲ協力被下及願上候
 記
 七月二十日
 更本堂改道食堂
 各課毎ニ一應責任者ニテ上時四十分
 分定ニテ五分五分分ノ間各課場ニ持参
 係員ニ送還ノコト
 定辨ヨハ責任者ニテ取護メ十三時ヨリ食堂
 係員ニ送還ノコト
 貴課辨當係員責任者選定ノ上十九日正午迄報告被下及
 同十九日正午迄報告係員責任者選定ノ上十九日正午迄報告被下及
 同値級及候向御上ノ所方由御計ノ下

各部課長殿

厚三 課

八面泰定ニ對シ畫合給與ノ件ト
 一面泰定ニ對シテ記東領ニ依リ畫合ヲ給スルコトニ致シ
 間何事ヲ協力被下及願上候
 記
 七月二十日
 更本堂改道食堂
 各課毎ニ一應責任者ニテ上時四十分
 分定ニテ五分五分分ノ間各課場ニ持参
 係員ニ送還ノコト
 定辨ヨハ責任者ニテ取護メ十三時ヨリ食堂
 係員ニ送還ノコト
 貴課辨當係員責任者選定ノ上十九日正午迄報告被下及
 同十九日正午迄報告係員責任者選定ノ上十九日正午迄報告被下及
 同値級及候向御上ノ所方由御計ノ下

貴課辨當係員責任者選定ノ上十九日正午迄報告被下及
 同十九日正午迄報告係員責任者選定ノ上十九日正午迄報告被下及
 同値級及候向御上ノ所方由御計ノ下

10/27

耶馬溪鉄道汽車時間改正・件通知

標記 件 昭和二年七月二三日ヨリモ記 通リ 改正ト 相成候間貴課員ノ
周知方 相煩度此段御通知申上候

下り列車

中津島	公園	上原	豊後	洞門	鹿島
6.45	7.10	7.15	7.27	7.47	7.52
7.35	7.52				
10.40	11.01	11.09	11.20	11.39	11.44
11.35	11.52				
14.05	14.27	14.33	14.44	15.05	15.10
15.00	15.17				
17.20	17.42	17.48	18.00	18.20	18.25

上り列車

鹿島	洞門	豊後	上原	公園	中津島
6.15	6.22	6.42	6.53	7.04	7.18
8.15	8.22	8.41	8.52	9.00	9.12
12.10	12.17	12.32	12.48	12.55	13.09
				13.25	13.40
17.30	17.37	17.59	18.09	17.40	17.55
				18.16	18.30

めくれず

各課長殿

種子大豆
甘藷苗 配給件

七月二日標記、物配給仕り度候間各、作付
反別記入、上明三日マデニ所報告被下
度尚作物供出ニ対シテハ追ソテ所長殿ヨリ
御指示アル旨ニ候

厚良深農園

傷病手當金請求申込書

(月 日請求)

工場(課)	職番	氏名
(同一傷病デ回目ノ請求)		
傷病名	(公傷ヲナシタル日) (初メテ診察ヲ受ケタル日)	
年月日	昭和 年 月 日	日
公私傷別	私傷休業日数	月 日ヨリ 月 日マデ 日間
現住所	市 町 字 丁目 番地	
入院	月 日ヨリ 月 日マデ 日間	病院ニ入院治療
保又私費	保私費	日間
家族欄	氏名	年 月 日生
家	"	年 月 日生
族	"	年 月 日生
欄	"	年 月 日生
	"	年 月 日生
	"	年 月 日生
	"	年 月 日生
取次人	工場	氏名

◎記入上ノ注意

一、氏名ハ略字ヲ用ヒズ正確ニ記入スルコト

CM B-5 18.10 (昭和12)

(二種類希望至可)

國歌君か海にかなふ
スルが如く軍國歌ヲ選バ

隊二突又此件

學生課產報係

職番	課名	出身学校名	氏名	有無
----	----	-------	----	----

傷病手當金請求申込書

(月 日請求)

[illegible]

記入上ノ注意

一、氏名ハ略字ヲ用ヒズ正確ニ記入スルコト

CM B-5 18.10 (14.12)

傷病手當金請求申込書

氏名	職番	工場(課)
昭和 年 月 日	私傷別	私傷休業日数
住所	市	町
入院	月	日
保費	私費	保費
家	氏名	続柄
族	"	"
欄	"	"
取	大	人
場	工	場

記入上の注意
 一、氏名は略字ヲ用ヒズ正確ニ記入スルコト

厚生課産報係

隊ニ関スル件

天ニシテ沖繩本島遂ニ守備ナラスノ
 首題ノ音楽隊ノ結成ハ様通牒
 取關ナレル全従業員ハ心身明朗化
 突撃ヲ急速且強力ニ推進セカ多
 成リ致シ如何ナル事態ニ對處スルモ
 神ヲ昂揚シ以テ生産補完必勝ノ

大任ニ挺身セシタル事ニ相成リマシタ故右記趣旨御了承ノ上
 貴課員ノ希望者ハ左記様式ニ依リ十日迄当係逕御申
 込被下度

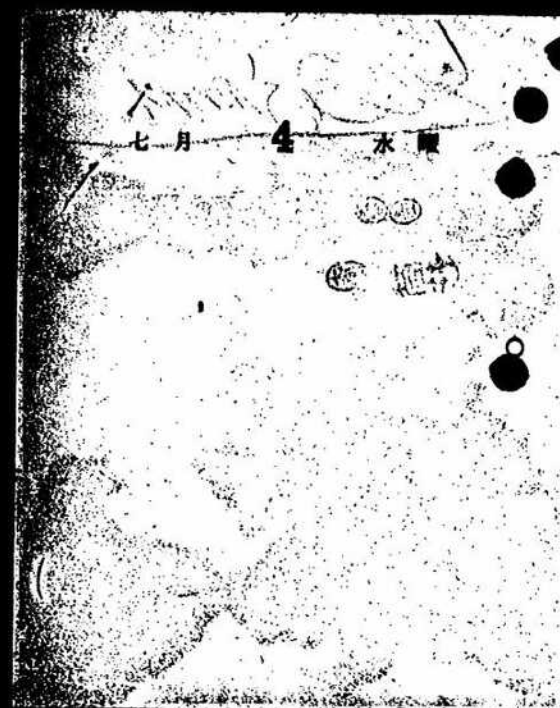
一、女子産業戦士ニ力ヲ置ク音楽愛好者中特ニ有志ヲ選抜
 シ隊員トナス
 二、一隊ハ十名乃至三十名程度ノ隊員ヲ以テ組織シ隊長副隊長
 ノ役員ヲ置ク

曲目
 国歌君が代海ゆかばみたみわ川必勝歌其外民族魂ヲ振起
 スルガ如キ軍國歌ヲ選バ
 様式 (二種類希望可)

職番	課名	出身学校名	氏名	有無

裏面白紙

裏面白紙



傷病手當金請求申込書

氏名	職	工場(課)
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日
公傷別	私傷別	休業日数
現住所	市	町
入院	月	日
保	私	公
家	氏名	続柄
族		
職		
取	人	場工

記入上の注意
1. 氏名は略字ヲ用ヒズ正確ニ記入スルコト

昭和二十年七月九日

各部課長殿

厚生課産報係 池

産報音楽挺身隊ニ関スル件

戦局愈々危急時マシニ重大ニシテ沖繩本島遂ニ守備ナラスノ
秋大日本産業報国会ヨリ首題ノ音楽隊ノ結成ナス様通牒
有之当工場ニ於テモ日夜取闘ナレル全従業員心身明朗化
神洲護持決死生産總突撃ヲ急速且強力ニ推進セガ多
合唱隊並鼓笛隊ノ結成ヲ致シ如何ナル事態ニ對處スルモ
重シザル職場死守ノ精神ヲ昂揚シ以テ生産補完必勝ノ
大任ニ挺身セシムル事ニ相成リマシタ故右記趣旨御了承ノ上
貴課員ノ希望者ハ左記様式ニ依リ十日迄当係迄御申
込被下度

組織

の女子産業戦士主力ヲ置ク音楽愛好者中特ニ有志ヲ選抜
シ隊員トナス
一隊ハ十名乃至三十名程度ノ隊員ヲ以テ組織シ隊長副隊長
ノ役員ヲ置ク

活動

①音楽挺身隊ハ平常ニ於テハ健全ナル歌曲ニ依リ朝禮時休憩
時等ヲ利用シ演奏會唱ヲ通シテ産業戦士ノ情操陶冶士
氣ノ昂揚ヲ圖リ剛健明朗ナル思想ヲ確立スル
②無警告ノ敵機襲撃ヨリ受クル甚大ナル被害ヲ未然ニ防止
セシメ隊員ハ敵機友軍機ノ爆音判定ニ役立ツ聴音訓練
ヲナシ防空待避活動ニ協力セシム
③警戒警報空襲警報發令時又ハ解除前後情勢ニ依リ隊長ハ
隊ノ出動ヲ命ジ適當ナル場所及方法ヲ以テ演奏會唱ヲナシ敵機
滅シ士氣ヲ鼓舞スル
④空襲被害ノ工場事業場ノ士氣昂揚ヲ圖リ戦友愛ヲ發揮スル
爲近接工場事業場間ニ挺身隊ノ隣組ヲ結成シ慰安ハ支
部ト連絡ヲ圖リ健全工場ノ隊ノ被爆工場ニ出動シ慰問激
勵ニ當リシムル尚隊ノ被爆工場ノ死傷者ニ對シ患靈ノ冥福ヲ
祈リ或ハ負傷者ノ病院慰問等ヲモス

裏面白紙

傷病手當金請求申込

氏名	職番	工場(課)
昭和 年 月 日	初診	傷病名
公傷別	私傷別	休業日数
現住所	市 町 村	入 院
保 險	私 費	保 險
家 族	氏 名	保 險
取 次 人	場 工	取 次 人

記入上の注意
一、氏名ハ略字ヲ用ヒズ正確ニ記入スル

昭和二十年七月九日

各部課長殿

厚生課産報係

産報音楽挺身隊ニ関スル件

戦局愈々危急時マシニ重大ニシテ沖繩本島遂ニ守備ナラスノ
秋大日本産業報国会ヨリ首題ノ音楽隊ノ结成ス様通牒
有之当工場ニ於テモ日夜取調サレル全従業員心身明朗化
神洲護持決死生産總突撃ヲ急速且強力ニ推進セシガ多
合唱隊並鼓笛隊ノ结成ヲ致シ如何ナル事態ニ對處スルモ
重シザル職場死守ノ精神ヲ昂揚シ以テ生産補完必勝ノ
大任ニ挺身セシムル事ニ相成リマシタ故右記趣旨御了承ノ上
貴課員ノ希望者ハ左記様式ニ依リ十日迄当係迄御申

込被下度

組織

の女子産業戦士ニ主力ヲ置テ音楽愛好者中特ニ有志ヲ選抜
シ隊員トス

一隊六十名乃至三十名程度ノ隊員ヲ以テ組織シ隊長副隊長
ノ役員ヲ置ク

活動

曲目

国歌君が代海軍がばみたまわね必勝歌其外民族魂ヲ振起
スルガ如キ軍国歌ヲ選バ

様式 (三種類希望可)

職番	課名	出身学校名	氏名	有無

裏面白紙

證認現傷死

[illegible]

厚生課

各部課長殿

現場食堂開設ニ関スル件

豫テ懸案タリシ現場食堂設備不充分ナラ開致致ス事ト
相成候就テハ當分寄宿舎收容女子寮生ノミ左記要領
ニ依リ喫食致サセ度左様御諒承、上貴課員(同知方
御取計ニ相願度

記

一、開設期日

七月一日

給食對象

寄宿舍收容女子寮生

一、給食場所

更衣室改造食堂(合同新禮廣場橫)

一、給食方法

全部辨當箱ヲ以テ支給ス

- (イ) 全部辨當竹租ヲ以テ支給ス
(ロ) 各課毎ニ指シアルヲ以テ代表者ニテ受領スル事
(ハ) 出来得ル限り同一課内打揃ヒ喫食スル事
(ニ) 空辨當竹租ハ代表者ノ責任ニ於テ食堂係員へ
返還スル事

以上

めくられず

一、氏名ハ略字ヲ用ヒズ正確ニ記入スルコト

傷病手當金請求申込書

二十六年六月十四日

厚然課產報係

六百億貯蓄攻勢強調期間實施三開三件

國民貯金ノ増強ニ因シテハ平素工場會員ニ於テハ其ノ都度格段ノ御盡カヲ賜リツツ有之候モ近時通貨膨脹ノ傾向ハ相当地顯著ニシテ軍需品ノ増産及國民生活ノ安定ニ與テ惡影響甚カラズ此ノ俟ノ情勢ニテハ戰時國民經濟ヲ危殆ニ瀕セシムルニ至ル虞ナシト云ヒ難ク更ニ一層貯蓄増強ニ努ムルノ要切ナルモノ有之候恰モ縣本部ヨリ六百億貯蓄政策強調間（至七月十四日）實施ノ通牒有之當工場モ欣然此ノ運動ニ參加本月手交セバ上半期賞與金等極力之ヲ貯蓄ニ振向テ御奉公ノ誠ヲ致シ度貴課全員ニ此ノ旨御強調被下度
尚本運動終了後期間中ニ於ケル貴課員ノ貯蓄總額御報告相成上度候

めくられず

厚生課長

各部課長殿

理髮三周。一部改正，件通知
首題，待今取左記，通リ改正可致候由貫録員へ御圖知，上御利用相成
度此致御通知申上候

六里後分志序記

理髮務原八翌日 理髮務 筆行乙北二十二改

所産課底禱係ヨリ翌日ノ理髮者ヲ購入ノ上理髮所ノ手交ニ翌日ノ理髮順序時同記入ノ木札ヲ受取り翌日指定時同ニ理髮ヲ了ス

①各課庶務係、兼行セ
記入、木札ヲ交付スルコト
理髮券本列換ニ由リ
理髮順序等由

① 理髮順序時同記入本札ハ算用数字一、二、三ト漢字一、二、三ノ二種ニ
 今ナ本旦一、二、三ノ本札ヲ使用スレバ明日ハ一、二、三ノ本札ヲ使用ス
 ル如ク文旦ニ使用スルコト又

四、改正期日

昭和二十年六月十九日ヨリ改正

但シ六月十九日當日分ラ併發スルモノトス
 (註) 空襲警報ヲ依リ指定時間ノ狂ヒラ生ズル場合即ルニ付
 御了承賜度

めくねず

野矢三郎 (按十條)

[illegible]

住所又ハ所在地
中津市大字永添二六〇番地
株式會社 神戸製鋼所中津工場
事業主
(氏名又ハ名稱)
事業主代理人 町 永三郎 印

昭和 年 月 日

B-5 18.10 (南福12)

輕合金材製造業

二月一日以後新規ニ健康保険ノ労働者年金保険ノ被保険者ト爲ル者ノ届正副二通

[illegible]

模式第四號、二

部次課畏殿

めくられず

住被
所保
名險
印者

右及申請候也

株式會社 三井物產株式會社

卷之八

號

五

三

除

記被

氏名	及印
診療所所在地	

月 日

明細

四、異言

蘇州府志

スル日曜

•

卷之四

又師

卷之六	
昭	
外上	
卷之六	

要
因

H	
---	--

34	
----	--

病ノ	年又	月ハ	日負
----	----	----	----

1588	1589
------	------

看護承認書

由石部一丁下ノ一丁ノ人

各部隊長

學生課

卷之二

今般厚生謀
族八蔡平南
周流望南
方收事上

候新平八谷果言通利等因

波厚暖付也月

其方云：何三學度譯。

學生課外申論相感度

[illegible]

めくれず

[illegible]

各部課長殿

厚生課

演藝劇引卷發行二回スル件

來ル六月六日、女流劍戟界ノ巨匠、日本ノ不二洋子
堂々待望ノ劍戟陣ヲ展開致シマス。此等可憐ナ方ハ
例ニ依リ一般入場料四圓五拾錢ノ外、一圓ノ拾錢ノ割
引券ヲ發行致シマス。此等午前申中迄二斗方宛
ト申江下サイ
四圓ノ密生ハ除ノ

記

日時 六月六日午後五時半

場所 蓬萊館

[illegible]

各部課長殿

演藝曲

來ル六月六日、女

堂々待望、創始

例二 依り一般入場

引券已發行

申下才

白但少察生八除

記

日
時

場
所

蓮

[illegible]

昭和二十年六月十日

勝里

各部課長殿

厚生課産報係

慰問演藝云云件

標記、件左記要項に依り、淡草富丸一行、慰問演藝云云、
開催致候に付、及御通知候也。尚、當日ハ二回実施シ入替八時間
厳守致シ度ニ付、貴課ニ於テ觀覧希望者ニ適宜ニ指導分
セシレ確實ニ引率被下度
記

実施月日

六月十三日 午前十一時三十分

第一回

場所

更衣室

種目

淡草富丸一行
歌謡曲 万才 曲技 浪曲

各部課長殿
件左記要項に依り、淡草富丸一行、慰問演藝云云、
開催致候に付、及御通知候也。尚、當日ハ二回実施シ入替八時間
厳守致シ度ニ付、貴課ニ於テ觀覧希望者ニ適宜ニ指導分
セシレ確實ニ引率被下度
記

聯合通策六號
昭和二十年六月四日
購
各課長
廣

聯合會長

長
第五

株式第九號ノ一

[illegible]

中 津 市 大 字 永 永 二 〇 六 二 番 地
株 式 合 社 神 戶 製 鋼 所 中 津 工 場
事 業 主 代 理 人 町 永 三

住所又ハ所在地
事業主
(氏名父ハ名義)

昭和年月日

B-5 18.10 (南 12)

本日六月九日東京舞踊謡楽劇團が来演致シマスギタ
 名手栗栖博、獨奏並帝皇國歌手三村悦子他曲技大川弘三
 万才、春風楓枝舞踊、澤三子一行、デッサイ、マヌ御前等
 方ハ一四六拾銭、劇引券ヲ發行致シマス由ハ本日午五時
 迄當方宛、才申出下サレ
 日時 六月九日 十日 午五時
 場所 中津劇場

各部課長殿

演藝云 劇引發行ニ因スル件

厚生課産報係

孫崎 三夜
 大島 三夜
 秋玉 三夜

めくれず

天
地
萬
物
皆
有
其
理

大德
大德
大德
大德

遊世錄

日 月 星 辰 風 雨 雲 霧 雷 電 霜 雪 冰 火 土 水 金 木 石 草 木 花 果 鳥 獸 魚 蟲 人 物 事 物 名 稱 類 別

卷八 國朝文獻 傳 卷八 國朝文獻 傳

各部課長殿



學生鄒長

生命(去之徵兵)保險團體取扱件

首題件二

事務開始時間

左期休險 急入者ハ團體特別救済ニ書(厚生課ニアリ)

三、所定事項、

上二通學生課提出招成樣係取計方招煩否追了

既製不然者，厚体

保陰令北二申一書提出上(當課ヨリ一區提出)

保陰料之要也時人

アリヲ一緒ニ提出スル

取計方相成

記

住友生命

第一生命

榮華富貴

帝國生命

日産生命

日本生命

富國徵兵

三井生命

明治十年

安田生介

めくられず

勞働者年金保險被保險者資格喪失屆

昭和 年 月 日 住所又ハ所在地
 中津市大字永添二六〇番地
 株式會社 神戸製鋼所中津工場
 事業主代理人町 永三郎
 (氏名又ハ名帶)

めくれず

日本書紀卷之八 孝武天皇
 天皇二十二年 乙未 歲次己未
 天皇二十三年 丙申 歲次庚申
 天皇二十四年 丁酉 歲次辛酉
 天皇二十五年 戊戌 歲次壬戌
 天皇二十六年 己亥 歲次癸亥
 天皇二十七年 庚子 歲次甲子
 天皇二十八年 辛丑 歲次乙丑
 天皇二十九年 壬寅 歲次丙寅
 天皇三十年 癸卯 歲次丁卯
 天皇三十一年 甲辰 歲次戊辰
 天皇三十二年 乙巳 歲次己巳
 天皇三十三年 丙午 歲次庚午
 天皇三十四年 丁未 歲次辛未
 天皇三十五年 戊申 歲次壬申
 天皇三十六年 己酉 歲次癸酉
 天皇三十七年 庚戌 歲次甲戌
 天皇三十八年 辛亥 歲次乙亥
 天皇三十九年 壬子 歲次丙子
 天皇四十年 癸丑 歲次丁丑
 天皇四十一年 甲寅 歲次戊寅
 天皇四十二年 乙卯 歲次己卯
 天皇四十三年 丙辰 歲次庚辰
 天皇四十四年 丁巳 歲次辛巳
 天皇四十五年 戊午 歲次壬午
 天皇四十六年 己未 歲次癸未
 天皇四十七年 庚申 歲次甲申
 天皇四十八年 辛酉 歲次乙酉
 天皇四十九年 壬戌 歲次丙戌
 天皇五十年 癸亥 歲次丁亥
 天皇五十一年 甲子 歲次戊子
 天皇五十二年 乙丑 歲次己丑
 天皇五十三年 丙寅 歲次庚寅
 天皇五十四年 丁卯 歲次辛卯
 天皇五十五年 戊辰 歲次壬辰
 天皇五十六年 己巳 歲次癸巳
 天皇五十七年 庚午 歲次甲午
 天皇五十八年 辛未 歲次乙未
 天皇五十九年 壬申 歲次丙申
 天皇六十年 癸酉 歲次丁酉
 天皇六十一年 甲戌 歲次戊戌
 天皇六十二年 乙亥 歲次己亥
 天皇六十三年 丙子 歲次庚子
 天皇六十四年 丁丑 歲次辛丑
 天皇六十五年 戊寅 歲次壬寅
 天皇六十六年 己卯 歲次癸卯
 天皇六十七年 庚辰 歲次甲辰
 天皇六十八年 辛巳 歲次乙巳
 天皇六十九年 壬午 歲次丙午
 天皇七十年 癸未 歲次丁未
 天皇七十一年 甲申 歲次戊申
 天皇七十二年 乙酉 歲次己酉
 天皇七十三年 丙戌 歲次庚戌
 天皇七十四年 丁亥 歲次辛亥
 天皇七十五年 戊子 歲次壬子
 天皇七十六年 己丑 歲次癸丑
 天皇七十七年 庚寅 歲次甲寅
 天皇七十八年 辛卯 歲次乙卯
 天皇七十九年 壬辰 歲次丙辰
 天皇八十年 癸巳 歲次丁巳
 天皇八十一年 甲午 歲次戊午
 天皇八十二年 乙未 歲次己未
 天皇八十三年 丙申 歲次庚申
 天皇八十四年 丁酉 歲次辛酉
 天皇八十五年 戊戌 歲次壬戌
 天皇八十六年 己亥 歲次癸亥
 天皇八十七年 庚子 歲次甲子
 天皇八十八年 辛丑 歲次乙丑
 天皇八十九年 壬寅 歲次丙寅
 天皇九十年 癸卯 歲次丁卯
 天皇九十一年 甲辰 歲次戊辰
 天皇九十二年 乙巳 歲次己巳
 天皇九十三年 丙午 歲次庚午
 天皇九十四年 丁未 歲次辛未
 天皇九十五年 戊申 歲次壬申
 天皇九十六年 己酉 歲次癸酉
 天皇九十七年 庚戌 歲次甲戌
 天皇九十八年 辛亥 歲次乙亥
 天皇九十九年 壬子 歲次丙子
 天皇一百年 癸丑 歲次丁丑

日本書紀卷之八 孝武天皇
 天皇二十二年 乙未 歲次己未
 天皇二十三年 丙申 歲次庚申
 天皇二十四年 丁酉 歲次辛酉
 天皇二十五年 戊戌 歲次壬戌
 天皇二十六年 己亥 歲次癸亥
 天皇二十七年 庚子 歲次甲子
 天皇二十八年 辛丑 歲次乙丑
 天皇二十九年 壬寅 歲次丙寅
 天皇三十年 癸卯 歲次丁卯
 天皇三十一年 甲辰 歲次戊辰
 天皇三十二年 乙巳 歲次己巳
 天皇三十三年 丙午 歲次庚午
 天皇三十四年 丁未 歲次辛未
 天皇三十五年 戊申 歲次壬申
 天皇三十六年 己酉 歲次癸酉
 天皇三十七年 庚戌 歲次甲戌
 天皇三十八年 辛亥 歲次乙亥
 天皇三十九年 壬子 歲次丙子
 天皇四十年 癸丑 歲次丁丑
 天皇四十一年 甲寅 歲次戊寅
 天皇四十二年 乙卯 歲次己卯
 天皇四十三年 丙辰 歲次庚辰
 天皇四十四年 丁巳 歲次辛巳
 天皇四十五年 戊午 歲次壬午
 天皇四十六年 己未 歲次癸未
 天皇四十七年 庚申 歲次甲申
 天皇四十八年 辛酉 歲次乙酉
 天皇四十九年 壬戌 歲次丙戌
 天皇五十年 癸亥 歲次丁亥
 天皇五十一年 甲子 歲次戊子
 天皇五十二年 乙丑 歲次己丑
 天皇五十三年 丙寅 歲次庚寅
 天皇五十四年 丁卯 歲次辛卯
 天皇五十五年 戊辰 歲次壬辰
 天皇五十六年 己巳 歲次癸巳
 天皇五十七年 庚午 歲次甲午
 天皇五十八年 辛未 歲次乙未
 天皇五十九年 壬申 歲次丙申
 天皇六十年 癸酉 歲次丁酉
 天皇六十一年 甲戌 歲次戊戌
 天皇六十二年 乙亥 歲次己亥
 天皇六十三年 丙子 歲次庚子
 天皇六十四年 丁丑 歲次辛丑
 天皇六十五年 戊寅 歲次壬寅
 天皇六十六年 己卯 歲次癸卯
 天皇六十七年 庚辰 歲次甲辰
 天皇六十八年 辛巳 歲次乙巳
 天皇六十九年 壬午 歲次丙午
 天皇七十年 癸未 歲次丁未
 天皇七十一年 甲申 歲次戊申
 天皇七十二年 乙酉 歲次己酉
 天皇七十三年 丙戌 歲次庚戌
 天皇七十四年 丁亥 歲次辛亥
 天皇七十五年 戊子 歲次壬子
 天皇七十六年 己丑 歲次癸丑
 天皇七十七年 庚寅 歲次甲寅
 天皇七十八年 辛卯 歲次乙卯
 天皇七十九年 壬辰 歲次丙辰
 天皇八十年 癸巳 歲次丁巳
 天皇八十一年 甲午 歲次戊午
 天皇八十二年 乙未 歲次己未
 天皇八十三年 丙申 歲次庚申
 天皇八十四年 丁酉 歲次辛酉
 天皇八十五年 戊戌 歲次壬戌
 天皇八十六年 己亥 歲次癸亥
 天皇八十七年 庚子 歲次甲子
 天皇八十八年 辛丑 歲次乙丑
 天皇八十九年 壬寅 歲次丙寅
 天皇九十年 癸卯 歲次丁卯
 天皇九十一年 甲辰 歲次戊辰
 天皇九十二年 乙巳 歲次己巳
 天皇九十三 丙午 歲次庚午
 天皇九十四年 丁未 歲次辛未
 天皇九十五年 戊申 歲次壬申
 天皇九十六年 己酉 歲次癸酉
 天皇九十七年 庚戌 歲次甲戌
 天皇九十八年 辛亥 歲次乙亥
 天皇九十九年 壬子 歲次丙子
 天皇一百年 癸丑 歲次丁丑

欄	欄	欄	欄	欄	欄
取	水	人	場	工	番
取	水	人	場	工	番

○記入上ノ注意
 一、氏名ハ略字ヲ用ヒズ正確ニ記入スルコト

各部課長殿

農作物保護課長殿

農理官ノ命ニ依リ、項下ノ食糧増産ノ綫程ノ爲ニ、工場直営地ニ
 各課終業後、以テ、空閑地利用、食糧増産ニ對シ、各課長
 持主地位ニ於テ、最善ノ努力致シ、屆候ニ、是レハ保護云々
 二、農産物ノ則ニ度
 就テハ上司ノ許可無ク、並斷生、育物並ニ收穫物ニ手ヲ觸ル、
 事、其、他、貴課全公員ニ、御前並、相成、後、願、上、候、也、
 此、上

裏面白紙

傷病手当金請求申込書

[illegible]

◎記入上ノ注意

一、氏名ハ略字ヲ用ヒズ正確ニ記入スルコト

各部課長
監理官ノ命
各課終
持士員は二
二課慶不則
就十八上
事

[illegible]

昭和二年九月十五日
 農具之納付
 整理部 都含有之候ニ付、貴課又ハ社堂ニ於テ厚生農園
 農具一應、原中簿及種籾、肥料桶一等御使用ノ向
 一應至急御返却被下度
 備忘 整理部次第改メテ貸出致シテ又

購買

各部課長殿

農具之納付ノ件

昭和二年九月十五日

厚生課長

整理部 都含有之候ニ付、貴課又ハ社堂ニ於テ厚生農園
 農具一應、原中簿及種籾、肥料桶一等御使用ノ向
 一應至急御返却被下度
 備忘 整理部次第改メテ貸出致シテ又

昭和二年五月一日

各部課長殿

厚生課長

汽車通勤者ニ對シ嚴重注意方仰依頼ノ件
標記ノ件ニ關シ先般中津駅及耶鉄側ヨリ注意ノ次第モ有之尚敵機頻襲ノ折
補給戰ノ重大性ニ鑑ミ愈々決戦輸送ニ協力シ産業戦士トシテノ品位保持ヲ
スル為汽車通勤者ニ對シ七記事項嚴守相成様特ニ注意相煩度此段仰依頼申
記

- 一 中津駅乗降者ニシテ跨線橋ヲ通行セズ線路ヲ横斷スル者又ハ收札口以外
リ出場スルモノアリ絶對禁止サレ度シ
- 二 中津駅出勤時定期券所持者ニシテ檢札ヲナサズ正改札口ヨリ入場スル
アリ今後當工場従業員專用出入口(收札口)ヨリ入場スルコト
- 三 切符所持者ハ正改札口ヨリ入場ノコト(一般旅客ト同ジ)
- 四 各駅ニ於テ入場開始以前ニ入場セル者ハ一應退場サセ更メテ入場サセル
付絶對ニ於テ賃車(無蓋車)ニ乗車スル者多數アリ最モ危險ニ付絶對乗車
禁ズ
- 五 生徒専用車ニ一般従業員ハ絶對乗車セザルコト
- 六 出勤時ハ橋前駅下車従業員ハ体位ヲ整ヘ登場スルコト 但シ警報發令時
別トス
- 七 交通役員並ニ上級者ノ命ニ必ず服スルコト

以上

めくれず

保誠保險有限公司

(第十卷) 第三十三卷

厚生齋

各部課長

品子菊配給通知

業已將通知致便通。各課及個人申述數量莫大。至于到底配給致
素不假。二三月一日現在在籍人員一人出外。對於各課之配給致。
可。三四月所屬課員紅。三四月所屬課員紅。三四月所屬課員紅。
達堂九方法。以于處理被成下度復。

迨三代金人無備下馬尚不現在兗京有或準備中三付後日

人而結天緣永出凡心不存

一就給子日年一

一、貴謀配給數量 七二

めくられず

12-1-11

卷之三

通鑑纂要卷之六

卷之六

卷之四

大英一千九百一十一年一月一日

卷之四

卷之五

五、

60 80 30 10 10 10

三

昭和二年三月一日

學生課長

各部課長殿

各課經管農園調查書三箇之件

首題，件三閱三，監理官殷可，命三依左記要項至急

調査致し度ニ付テ五月一日マデニ調査報告被下度願工候

5/11

11

一、

各部課長殿

慰問演藝三回スル件

標記ノ片左記要項ニ依リヒツター事所ノ致ナ
灰田富美子一行ノ慰問演藝ヲ開催致候ニ付
及テ通知候也

尚當目ノ二面実施シ入替々時間ヲ厳守致シ度ニ付貴
課ニ於テ觀覽者ヲ適宜ニ導キテテ座定ニ
引率該下度

記

実施日時

四月二十七日(方面十二時三十分集合)
五月二日(方面十二時三十分集合)

場所

第一会場中興倉庫(座敷裏口ニ於テ)

演藝者

灰田富美子 十草 志子 一行

種目

萬才 歌謡曲

警報發令ノ場合ハ中止致ス

めくれず

警務部公ノ指令ニ付テハ

（Faint, mostly illegible handwritten text on the right page, possibly a list or detailed report.)

昭和三年四月十五日

各課長殿



警生課



健康保険被保険者證回収ノ件
分第五〇二工場健康保険組合設立ニ伴ヒ四政省官署等
被保険者證回収致度矣奈 素以四月三日迄迄課
員取總ノ御返納相成度 此致及申上知人
追而新被保険者證ハ五日交換可致
尚紛失者ハ印鑑持参相成度

めくれず

診 断 書

工場	負傷名	原因	現 症 及 經 過	負 傷 結 果
中津市大字永源二六〇二番地 株式會社 神戸製鋼中津工場	氏 名			
生 年 月 日	負 年 月 日			
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日			

右 診 断 候 也

昭和 年 月 日

(醫師住所氏名印)

各部課長 殿

厚生課

昆麻栽培督勵ニ関スル件

苛烈ナル戦局ノ現段階ニ鑑ミ航空潤滑油自給確保ノ多ク飛躍的
緊急増産ヲ関係官廣リ指示有之矣奈昆麻栽培ニ関シ御案
被下度此段々督勵ス也
栽培上ノ注意ハ左記ノ通り

記

一 位置 市東蒙上ノ遠散ヲ兼本悉ク栽培スルコト
尚工場内空閑地ヲ有効ニ利用スルコト
日照リヨキ所ヲ選ブコト

一 播種方法 目下適期ニ付本月中ニ播種スルコト
下所ニニニ粒播トシ一本仕立トナスコト(間隔ハ四尺一六尺トス)

一 施肥 堆肥 厩肥等ヲ下ニ入レルコト
一 播種 配給 四月二十日 厚生課 課長 所ニ於テ配給ス

めくれず

診断書

工場	中津市大字永盛二六〇二番地 株式会社神戸製鋼中津工場	
負傷名	氏名	
原因	年月日	生年月日
現症	昭和	昭和
経過	年	年
負傷	月	月
結果	日	日

右診断候也

昭和 年 月 日

各部課長 殿

厚生課

潤滑油自給確保シテ飛躍的
有之ニテ余昆麻栽培ニ関シ御意

ハコト
ト(向隔ハ四尺一六尺トス)

施肥、堆肥、塵芥灰等ヲ下ニ入レルコト
一様ニ配給四月ニテ日厚生課事ハ所ニ於テ配給又

裏面白紙

めくれず

宜龍表四州失產事或士遊遊看の世話に因するは
 標この件に因し過目大分縣產報会より御指示により
 工場工員にして社用並私用の金他出たり不幸にして
 宜龍表を帰社に加入の者萬一ありたる場合直に
 產報支部に連絡する孫通縣有之支部連絡の
 必要條厚生課產報係迄御報告願上候

各部詳長

光緒二十一年四月十一日

生 產 報



月一日以後新規に健康保険、労働者年金保険に加入する者、届出届二通

中津市大字永添二六〇番地
株式会社・神戸製鋼所中津工場
事業主代理人 町水三郎

住所又へ所在地
事 業 主
(氏名又へ名義)

昭和 年 月 日

B-5 18.10 (南風12)

各部課長殿

厚生課

演藝割引券発行ニ関スル件

来る四月御馴染みの名優川崎弘子一行左記の通り
来演致します御希望の方は例に依り一般入場料
五圓七拾錢の処四圓式拾錢の割引券を發行致し
ます尚申込は四月三日正明中迄方宛お申下さい
ませ

記

日時 四月四日午後五時半

場所 中津劇場

演藝種目 人妻椿 陽田川

めくれず

卷之六
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

昭和二十三年十月

總

厚
生

३१७

— 25 —

昭和二十年度簡易納付金 行二回スル件

首領ノ件葛西純佐藥員ノ蕭田新呼ハ來ル五月末工場ニ於テ該寓者全員被シ

孰而對呼該署者一鐵兵終倍處分ヲ終ラザル第二國民兵及師團侵ノ指守スル
在砲直人一二ハ對呼今狀交付サレ居ル龜ト存候ニ付來ル三月十五日マデ
狀及印發持參ノ上兵等係ニテ受領手續ヲ致ス張責機並藥員ハ固知徹底方

尙本伍五片末富上券二在賸スル難從モ石二準ズル時爲令

一 育成方法
半近成(本家)の面影を以て
二 國移殖以後、面影地より收買したる家屋を
三 育成
中(一) 育成
名(二) 育成
代償
有償(一) 育成
育成

厚生課長

各部課長殿

理髪所ニ関スル件

前題ニ関シテハ混雜防止策トシテ各所本札ヲ理髪所ニ於テ順次
交付シ通宜理髪時間ヲ明示致シ居ルニ由理髪所ニ殘留長時同休
居ルモノ多量ニシテ其ノ都度注意シツアルニ徹底セザル様有ニ付
各所ニ於ケルハ嚴重注意相續度

並市 自今迄記ノ通ノ実施可致候同音計員ハ固知方相續度此致
以類由上

花

記

- 一 育成後、育成中ノ子校生徒ハ一概刈ノコト
- 二 長髪ハ行ハサルコト
- 三 理髪券券カ、場合各課ニ於テ發行有記入セル
適用日以外ハ効力ニ付 爲念申上候

めくれず

注意 二月一日以後健康保障者、交付ト勞働者年金保障ノ被保険者、交付ト同時ニ喪失シテ場合ノ屬(正四二)

樣式第五號之二

學生部

大聖王年平以講演聚講三周以上件
標記存元就要與二條中開難致候間意課全責周知方調校
度比段御願中上候

講
師
火
野
華
平

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

備考
全貞女席ノコト一般士女及女子從業員ハ希望者限リ出席
爲メ八邊食休憩時間十五分間延滞シ十五時三十分是時退席
上九時三十分大真八邊食二休憩可能ニシテ

めくれず

昭和十一年三月一日

東京市立第一中学校

校長 佐々木 清

空室水止

在り、計一五

二ト組成

入上

一、

二、

三、

四、

五、

六、

分、	金額
東京市立第一中学校	三、〇〇〇円
東京市立第一中学校	一、〇〇〇円
東京市立第一中学校	一、〇〇〇円
東京市立第一中学校	一、〇〇〇円
東京市立第一中学校	一、〇〇〇円
東京市立第一中学校	一、〇〇〇円
東京市立第一中学校	一、〇〇〇円
東京市立第一中学校	一、〇〇〇円
東京市立第一中学校	一、〇〇〇円
東京市立第一中学校	一、〇〇〇円

東京市立第一中学校
校長 佐々木 清
昭和十一年三月一日

めくれず

二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

氏名	住所	年齢	性別	職業	備考
山田三郎	中津市本町三丁目 六六六	六六六	男	無職	（記入要あり）

二月十五日迄の提出期

各課長殿

厚生部 長官

現下、入午困難ナルハ、長官ニ厚生部長通達第一二號ヲ以テ通達シ、發シタル際本票ハ、七依然、之が取扱ハ、長官ニ注意サレ、向々、改定ニ再度通達由、上、次、第、ニ、テ、尚、今、日、ハ、（四）風邪ヲ引、（五）天、等、ヲ、回、候、ス、ル、等、其、時、下、ノ、注、意、増、進、ニ、行、キ、ス、ル、等、ハ、長官ニ、改、メ、テ、御、高、示、被、成、下、度、比、改、併、セ、テ、又、通、達、ス、

めくれず

田中 吉太郎
 1941 11/14
 田中 吉太郎

厚通二の第一號
 昭和二年一月六日

各部課長殿

通車修理所開設、此
 際、各課之業務、
 課長、周知方計、取計、相成候間、貴部

厚通課

一、修理開始日
 二、修理場所
 三、修理時間
 四、料金
 五、その他
 昭和二年一月六日ヨリ
 正門、後門、車庫、修理所
 各、修理、八、時、三、分迄
 修理、八、時、三、分迄
 修理、八、時、三、分迄

田中 吉太郎
 1941 11/14
 田中 吉太郎

昭和十九年十二月二十八日

各課長殿

貴課に於ける業務の進捗状況、特に、
（以下省略）

（以下省略）

めくれず

明治三十五年五月

昭和十一年五月

全部課長殿

厚生部長

學徒取扱ニ関スル件

十月四日同催・學徒取扱ニ関スル打合会決定事項ニ付既
實施中トシテ口頭急念左記御通知申上候条實施方宜敷御
取計相成度候

記

一 登校日設定

中學中學校

月三回學校側ト協議ノ上適當ナル日ヲ決定ス
但登校日ニハ五場出勤トシ即致時夜間車場入

中津同業中學校

登校日ヲ決定セズ

天次高等中學校

隨時必要ニ場合協議ノ上決定ス

東京市立第一高等商業学校

中津中学校 週三日一月木土 中津中学校側朝礼ヲ実施シ所要

月曜 一時同朝礼 時間約三十分 校後教練室施

中津商業学校 木曜 二時同朝礼

火曜(四年生) 三時四十分 本校後教練室施

金曜(三年生)

玉天高等女学校 週一日 学校側朝礼ヲ実施シ所要時間約一時同 尚朝礼後一時同前教練室施ニホカニモ未決更

一職礼ニ関シ

入場口職礼ハ慶シ現場職礼ニ使用ノコト

一学徒表彰ニ関シ

学徒勤勞上表彰ニ價ニホカニハ隨時報告サレタリ

昭和九年十二月六日

厚生課

各部課長殿

國民休養會

首題ノ件ニ関シ休養會ニ必要之候旨ヲ指示所持者ハ 厚生課先至急御答復願ヒ配付相煩度候

めくれず

	1
	2
	3
	4
	5
	6
	7
	8
	9
	10
	11
	12
	13
	14
	15
	16
	17
	18
	19
	20
	21
	22
	23
	24
	25
	26
	27
	28
	29
	30
	31
	32
	33
	34
	35
	36
	37
	38
	39
	40
	41
	42
	43
	44
	45
	46
	47
	48
	49
	50
	51
	52
	53
	54
	55
	56
	57
	58
	59
	60
	61
	62
	63
	64
	65
	66
	67
	68
	69
	70
	71
	72
	73
	74
	75
	76
	77
	78
	79
	80
	81
	82
	83
	84
	85
	86
	87
	88
	89
	90
	91
	92
	93
	94
	95
	96
	97
	98
	99
	100

看護承認申請書

(健保施一五六)

被保険者 記 號 及 番 號	第 號	見 意 ノ 師 醫 科 齒 ハ ヌ 師 醫		傷 病 ノ 年 又 ハ 日 負	昭 和 年 月 日	原 傷 病 ノ 因	業 務 上 ノ 別 業 務	
		昭 和 年 月 日	診 療 所 所 在 地 氏 名 及 印	傷 病 名	看 護 ノ 給 付 ヲ 必 要 ト 認 ム ル 事 由	看 護 ヲ 要 ス ル 日 數	額 積 見 用 費	日
株式會社神戸製鋼所中津工場								

B5 18.10 (南欄12)

右及申請候也

昭和 年 月 日

被保險者
住所氏名印

寄留地身体検査受檢通常願

本年左記寄留地所在ノ徵募區ニ於テ徵兵身体検査受檢致度候間御許可相成度候也

左 記

寄留地 中津市大字ノ永添二六〇二番地

本籍地

戸主

本人

昭和 年 月 日

年 月 日生

中津市長殿

一、本人ノ職業及勤先

(電話番號)

株式會社神戸製鋼所中津工場

二、世帯主又ハ
責任者住所氏名
(本市内現住者ニ限リ)

大分縣中津市

株式會社神戸製鋼所中津工場

所長坂口重茂

南大七一

項事考參

めくれず

中厚通一九第七〇號
昭和十九年十一月九日

各部課長殿

厚生課 農園係

至急・甘藍・苗配給ニ関スル件

首題ノ件去ル十月二十八日付「首苗配給ニ関スル件」通達ヲ以テ御照會後
希望數調査セシ候處各課申込數少キヲメ農園準備數ニ相當ナル剩余ヲ來
ス見込ミ有之就而御多忙中至急縮減希望者ハ遠慮テク申込相成様
貴課全負ヘ重テ御承達相煩度此致御禮申上候

當農園ニ於テハ本年ノ野菜不足ヲ考慮シ從價買入人ニツキ至急五十
甘藍十五本當ニテ首苗改置候間為急申奉候

診入 所 明	足 意 脚 科 ハ 脚	足 意 脚 科 ハ 脚	足 意 脚 科 ハ 脚
足 意 脚 科 ハ 脚	足 意 脚 科 ハ 脚	足 意 脚 科 ハ 脚	足 意 脚 科 ハ 脚

理
開

2)

昭和 7 年 11 日

神戸製鋼所中津工場

二八	鈴木徳雄	一〇〇	三五	高松名水	一〇〇
二九	中村貞次	一〇〇	三六	馬場敬英	一〇〇
三〇	谷田印正	一〇〇	三七	井上一夫	一〇〇
三一	白水原義則	一〇〇	三八	横山春好	一〇〇
三二	米谷良一	一〇〇	三九	南 孝男	一〇〇
三三	中村是之	一〇〇	四〇	森田兵一	一〇〇
三四	朝田文人	一〇〇	四一	中野幸雄	一〇〇
三五	西中増明	一〇〇	四二	杉本忠義	一〇〇
三六	江洲國男	一〇〇	四三	星 亨	一〇〇
三七	松本武夫	一〇〇	四四	坂本 寛	一〇〇
三八	木下貞夫	一〇〇	四五	丹屋常郎	一〇〇
三九	廣崎忠雄	一〇〇	四六	相本辰男	一〇〇
四〇	小沢行雄	一〇〇	四七	奥 利生	一〇〇

南大六五

めくれず

昭和十九年 7月 11日

會社式 神戸製鋼所中津工場

二八	山本忠雄	一〇〇	三五	高松名水	一〇〇
二九	中村貞治	一〇〇	三六	馬場敬美	一〇〇
三〇	谷田部北正	一〇〇	三七	井上英一	一〇〇
三一	白木原義則	一〇〇	三八	横山春好	一〇〇
三二	米谷良一	一〇〇	三九	南 孝男	一〇〇
三三	中村定之	一〇〇	四〇	森田兵一	一〇〇
三四	朝田文人	一〇〇	四一	山形幸雄	一〇〇
三五	西中増明	一〇〇	四二	杉本忠成	一〇〇
三六	江洲國男	一〇〇	四三	室 孝	一〇〇
三七	松本武夫	一〇〇	四四	我毛 寛	一〇〇
三八	木下貞夫	一〇〇	四五	丹屋常郎	一〇〇
三九	廣崎忠雄	一〇〇	四六	相本辰男	一〇〇
四〇	小矢行直	一〇〇	四七	奥 利生	一〇〇

南大六五

昭和十九年

昭和十九年十一月四日

各部課長 殿

厚生大会本部

臺灣沖海戦大勝祝賀厚生大会ニ関スル件

首題、件ニ関シテハ明十一月五日午前十時半ヨリ開催致スコトト相成候ニ付
貴部全員ニ先該御傳達被成下度候

めくれず

中	遲	者
遲	刻	者
本	日	出
出	張	者
休	職	者

組
組

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp/>

めくれず

昭和十二年十月二十八日

票出課

購買課 課長 殿

秋葉荒米種子代金請求方、

出張所宛に照会前種子代金九元、通り票領申渡度、

四月五日迄學生課農園係へ納入後、下記此段を請求願也

昭和十二年	十月	二十八日	秋葉荒米種子代金請求方、	出張所宛に照会前種子代金九元、通り票領申渡度、	四月五日迄學生課農園係へ納入後、下記此段を請求願也
昭和十二年	十月	二十八日	秋葉荒米種子代金請求方、	出張所宛に照会前種子代金九元、通り票領申渡度、	四月五日迄學生課農園係へ納入後、下記此段を請求願也
昭和十二年	十月	二十八日	秋葉荒米種子代金請求方、	出張所宛に照会前種子代金九元、通り票領申渡度、	四月五日迄學生課農園係へ納入後、下記此段を請求願也
昭和十二年	十月	二十八日	秋葉荒米種子代金請求方、	出張所宛に照会前種子代金九元、通り票領申渡度、	四月五日迄學生課農園係へ納入後、下記此段を請求願也
昭和十二年	十月	二十八日	秋葉荒米種子代金請求方、	出張所宛に照会前種子代金九元、通り票領申渡度、	四月五日迄學生課農園係へ納入後、下記此段を請求願也
昭和十二年	十月	二十八日	秋葉荒米種子代金請求方、	出張所宛に照会前種子代金九元、通り票領申渡度、	四月五日迄學生課農園係へ納入後、下記此段を請求願也
昭和十二年	十月	二十八日	秋葉荒米種子代金請求方、	出張所宛に照会前種子代金九元、通り票領申渡度、	四月五日迄學生課農園係へ納入後、下記此段を請求願也
昭和十二年	十月	二十八日	秋葉荒米種子代金請求方、	出張所宛に照会前種子代金九元、通り票領申渡度、	四月五日迄學生課農園係へ納入後、下記此段を請求願也
昭和十二年	十月	二十八日	秋葉荒米種子代金請求方、	出張所宛に照会前種子代金九元、通り票領申渡度、	四月五日迄學生課農園係へ納入後、下記此段を請求願也
昭和十二年	十月	二十八日	秋葉荒米種子代金請求方、	出張所宛に照会前種子代金九元、通り票領申渡度、	四月五日迄學生課農園係へ納入後、下記此段を請求願也

昭和十九年十月三十日

各部課長殿

各部課長殿 貴部所管事項

時向中防空防火ノ重要性ニ鑑ミ、方ノ競取ノ對部
課長殿トシテ追加教ヘ仕向人取為所課長宛奉付
中、由報書部ト下渡被

所期防火教示

一組 五人 並出ノ部ト
四ノ用子押ボムヲ用ヒテ 注水競取ヲナス

以上

學生大會本部

11.5
11.0
11.0
10.0
5.0
10.0

10
10
10
10
10
10

昭和十九年十一月十一日

部課長殿

厚生大會本部

台灣沖海戰大勝祝賀厚生大會競技種目決定通知並出場申込之件

來月十一月三日舉行之標記大会競技種目左記、通り決定候
候三付申込規定ニ據り各部課ニ於テ取り纏メ、上二種一葉
一人名記入ノコト十一月二十八日午前中ニ御申込相成度此段御通
知候也

一部課對抗單位

人員、都合上左記十二部課トス

事務部(事務部、防衛課)

厚生部

3. 検査課 (在勤所 検査、分析)
 4. 運輸課 (運輸、分遣隊)
 5. 倉庫課
 6. 第一工班 (工務、第一工班)
 7. 第二工班
 8. 熔解課 (活解、熔解)
 9. 押出課
 10. 鍛造課
 11. 工作部 (工務、動力)
 12. 設備課 (大林組、松下)
 前記各部課より左記役員御選定の上二十八日午前中三
 本部宛御通知被下度

1. 總監督
 各部課より一名 当該部選手及出場者全般ノ統制監督
 2. 監督
 各部課より二名 總監督ヲ補佐ス
 3. 連絡員
 各部課より五名以上 監督ヲ補佐シ出場者ノ受付整理
 召集 其ノ他 当該部課ト本部トノ連絡ニ任ズ成ルベク
 係員職員 役付ヲ希望ス
 4. 部課対抗競技
 対抗競技ノ左記種目トス
 5. 係員練習
 各部課より一組 (四名) 選出
 6. 部課対抗練習
 各部課より一組 (四名) 選出
 7. 部課対抗練習
 各部課より一組 (四名) 選出

女子重量物運搬組
各部課一組十名選定
一人五ノ不元五ノ米
組更一重量物ハ十六斤

女子四ノ米組
各部課ヨリ一組四名

各部課ヨリ一組四名
一名ノ不元五ノ米

備考

六組宛ニテ選定行ヒ
三等迄決勝会場資格ヲ得

一般競走
1. 自米競走 (男)
2. 二百米競走 (男)
3. 三千米競走 (男)

以敵前上陸 (男)
一人一柳 四ツ這ヒ 早競走 混合ハ二ノ米競走

假裝競走 (男)

障礙物競走 (男)

水泳競走 (男)

自走競走 (女)

繩飛競走 (女)

救急競走 (女)

二人三脚 (女)

障礙物競走 (男)

八百米競走 (部課長)

備物競走 (部課長)

特殊競走

川上島 (青下学校)

法
卷



年 水

五

3

U
U

$$\frac{1}{12}$$

及

分

1. $\frac{1}{2}$

カ

100

— ۱۵۸ —

18.3.2	19.1.3	19.1.2	19.1.5	19.1.4	18.0.3	19.1.5	20.2.0
23.0.7	20.3.4	19.2.0	19.0.6	19.0.5	19.0.5	19.0.5	20.3.4
21.4.7	21.0.3	20.1.7	20.0.3	20.0.4	20.1.8	20.3.4	20.3.4

めくねす

國民勤勞動員署

※就職御希望ノ方ハ詳細當國民勤勞動員署へ御相談下サイ

手當	勤勞日ニ來場シタ人ニハ旅費、食費ヲ支給シ又採用決定後ハ工場迄ノ赴任旅費及ヒ食費ヲ入社後支給シマス 寄宿舎ニ入合スル人ハ配給停止ノ證明書、衣料切符、日用品ヲ持参シテ戴キマス、寢具ヲ持参シタ人ニハ手當ヲ支給シマス	扶養家族アル者 一日ニ付標準額日額ノ五割 二割五分 臨時家族手當支給規定ニ依ル
	給付及赴任旅費 赴任ノ際ノ携帶品	ナキ者 ナ
福利施設	(一) 住宅 新築ノ住宅ガアリ現在完備セルモノ〇〇〇〇戸デ尙引續キ建設中デスカラ希望ノ方ニハ申込ノ順ニヨ リオ貸致シマス電氣水道浴場付他ニ美蘭ナアバト式住宅モアリマス	
	(二) 寄宿舎 イ、男子寄宿舎 ハ、女子寄宿舎 合費(三食付)十四圓(毎月) 合費(三食付)十一圓(〇〇〇〇)	
教育施設	(三) 配給所 右ノ様ナ寄宿舎ガアリ合費ノ親切ナ指導ノ下ニ規律正シク軍隊生活ヲナシ一方娛樂運動ノ各設備ガアリマス 出来得ル丈色々ナ生活必需品ヲ備ヘ皆ノ便宜ヲ計ツテキマス	
	(四) 診療所 從業員及ヒ家族ノ方々ノ爲メニ各専門醫ヲ配シタ完備セル病院ヲ建設中デス	
文化厚生施設	(五) 團體生命保險 勤續一ケ年以上ニ達シタ工員ニ對シテハ保險料ヲ會社デ負担シテ生命保險ニ加入セシメマス 健康保險 退職手當 勤勞年金等ノ各制度モアリマス	
	(イ) 青年學校 青年學校令(勅令第二四五號)ニヨル適齡者ハ私立神鋼青年學校ニ入學セシメ皇國民トシテノ鍊成 ニ努メテ居リマス (ロ) 養成施設 中堅工員ノ養成ヲ目的トシタ技能者養成令(勅令第一三一號)ニヨル養成教育ノ施設ガアリマス 修養會、講演會、映画會、國防教育、訓練、其他各種ノ文化厚生施設ガアリマス	

右表説明

- ① 中津驛通勤者……………定時入場
- ② 宇佐方面通勤者……………定時入場
- ③ 中津駅通勤者……………遅刻三十分引 退場ヲ調査ナリ
- ④ 宇佐島方面……………定時入場
- ⑤ 宇佐方面……………定時入場

但し②ノ六時三十分ニ來場シテ未得トシテ⑤ノ七時一分ニ來場セル者ハ
各課長ノ計ニ照シテ取生シテ課長ノ承認上定時入場ヲ認ムルモトス

時間	宇佐島方面	宇佐方面	中津駅方面	中津驛方面
7:02	12:55	17:42	19:04	18:35
18:35	18:35	18:35	18:35	18:35

めくれず

品名	数量	单价	总价
公园春	700	7.05	4.935
		8.20	
	910	9.15	8.3265
	11.40	11.45	13.053
		13.00	
	13.59	14.05	19.095
	16.30	16.35	26.6655
		17.55	
48	17.04	17.00	29.068
40	17.53	2.00	35.06

漢書 卷一百一十五

2.25 --- 7.15
 10.50
 13.11 --- 14.00 15.15
 15.40
 18.18 --- 19.10 20.22
 20.35

五
班

又件
時改正及洞門羅漢寺
周知方相煩交仙通知

厚生課

右表說明

(1) 日豐銀字號
(2) 中澤銀字號
(3) 日豐銀字號
(4) 中澤銀字號
(5) 中澤銀字號

時入場
定時入場
定時入場

現場調査

上

12.13	12.14	12.20	12.25	12.30
中洋行	大豐公司	大豐公司	真塔行	大同印刷
12.13	12.14	12.20	12.25	12.30

厚生部部長 芳澤九郎

昭和十九年十月八日

各部課長殿

厚生部部長

九月十八日附厚生部部長 芳澤九郎より返付御依頼件
都合七有之候間御用済、上八翌月五日迄厚生課宛必々御返付被
成下度候、御通申上置候處同誌第一號、回收状況極々不良ニ
シテ爾後、配本ニ支障有之哉、示圖候付、添付別紙記載事情御斟
酌被下貴課ニ於テ一、責任者御指定、上配布諸雜誌未紙迄裁
期日迄ニ必着致、様御返付、程重不、御依頼申上候

(上リ)			
寺岡	羅漢寺	洞門	原坂
4.40	5.40	6.36	6.4
		8.40	8.5
		11.10	11.2
11.30	12.35	13.30	13.4
		16.00	16.1
16.30	17.35	18.35	18.4
			19.1
(下リ)			
寺岡	公園	公園	原坂
6.50	7.09		
7.35	7.52	7.55	8.10
10.00	10.17	10.20	10.35
11.10	11.27		
12.20	12.37	12.40	12.56
14.50	15.07	15.10	15.26
16.00	16.17		
17.25	17.42	17.47	18.03
18.40	18.57	19.05	19.20
19.45	20.02	20.04	20.18

徒歩連絡

厚生部長兼第九号

各部課長殿

一 部
二 部
三 部



厚生部長
付御依頼件

五月五日迄厚生課宛に御返付被
延同訖第一號、面收状況極々不良ニ
屬候三付添付別紙記載事情御斟
御指定上配布諸雜誌未紙記載
程重不御依頼申上候

裏面白紙

(上リ)

母実盛	羅漢寺	洞門	原以
4.40	5.40	6.36	6.4
		8.40	8.5
		11.10	11.2
11.30	12.35	12.30	13.4
		16.00	16.1
16.30	17.35	18.35	18.4
			19.1

(下リ)

母実盛	公園	公園	真坂
2.50	4.07		8.10
7.35	8.52	9.55	10.35
10.00	10.17	10.20	
11.10	11.27		12.56
12.20	12.37	12.40	15.26
14.50	15.17	15.10	
16.00	16.17		18.03
17.25	17.42	17.47	19.20
18.40	18.57	19.05	20.18
19.45	20.02	20.04	

() 徒歩連絡

健康保險被保險者證／記號

樣式第三號 (第十條)

學生課產報係

めくられず

條式第三號 (第十條)

寮生素人演藝會開催通知の件

めくれず

厚生課産報係

各課長殿

福券受渡二関スル件

幕主御休頼 福卷ハ各課長及各係員殿、御熱心ナル御後援ニ最從
 負各位、時局ニ對スル正シキ御認識ニ依リ、當工場、富數ヲ無事消化
 致シ先般中津支部ヨリ現品到着、諸準備相調ヒ是候間、明後十三
 日、時ヨリ各課、御渡シ致度、就而御多忙中、乍恐縮、各位、御事ヨ
 リ現金御希望、向、現金御徴收、上又十月分俸給ヨリ、除却、向
 除却書、簿一部作成、上明^後十三日、十三時迄、厚生課へ御持参相成度
 右御依頼、旁、御通知申上候

[illegible]

(iv)

昭和十九年四月入所の女子挺身隊員ニテ一耶欽日豊線共
四月ヨリ九月迄分々一月間ハ東京支店代ヲ五場ニテ百員
引ノ東京支店ハ各人ニ於テ歸入スルコトニ相成リ候間ハ
今月ニ限リ且日迄歸入者至急ニ學生課定期券係ニテ
書提ニ相成度貴課挺身隊ハ周知方濟取計相煩方
並而所管高田鐵ハ學生課定期券係ハ御請亦相成度

昭和十九年十月一日

厚生部長 第八号

各課課長 殿

厚生部長

風水信後五、公休等取扱に關スル件
標記、件ニ關シ九月十九日付通達ヲ以テ臨時措置ヲ御通知致候処更ニ
徹底ヲ期スル為ニ九月十九日付通達致シニ付実施相成度

一、十九日通達第四項、十八日以降休業セリ者ニ對シテハ左記ノ取扱ヲス
イ、被害アリクモノ
被害状況ニ依リ十八十九二十三日間ノ各課長ヲ承認ヲ得テ公休
後七トスルハ被害、甚ダシキモノハ各課長ノ申請ニヨリ公休ヲ延期
スルコトアリベシ、公休後ヲ認メタルモノニ對シテハ不就業手当
トシテ日給ノ六割ヲ支給ス
右ニ関シ十一月以降公休ヲ延期スル場合ハハハ課長承認可セルハ
休居ヲ提出、コト未提出、七、對シテハ公休ハ認め入
公休、延期ハ原則トシ十一月以降三十日迄トシ水害見舞金ヲ
受領セリ者ニ限リ

各部次課長殿

厚
生
課

中下	行先
4.37	門港
4.58	門港
6.02	門港
6.52	"
9.08	"
11.44	"
12.45	"
14.30	"
15.22	"
16.30	"
17.30	"
19.04	"
20.35	"
中下	行先
5.32	佐伯
6.57	加賀
7.50	宇佐
9.04	大分
10.20	津久井
11.51	郡城
12.53	津久井
14.40	佐伯
16.34	"
19.07	白杵
20.14	津久井
21.20	"
22.34	"
0.16	加賀

めくられず

二十九日、通達第10頁
 汽車不通、急出勤可能、モノハ汽車開通迄ハ公休扱ヒトシ賃金及
 手当ハ支給セズ徒勞ニテ出勤セル場合遅刻入場者ニ付シテハ遅刻ト
 見做サズ定時閣ノ賃金ヲ支拂フモノトス
 休業セルトキハ休業トシテ取扱フモノトス
 右ノ関シ汽車開通二十三日以後ハ就業時間ヨリ賃金ヲ支拂ヒ先記
 通り取扱フモノトス
 一書勤
 出勤午前八時大貞公園着
 三十分引

[illegible]

(出勤簿記入法)

姓名	性別	年齢	職業	住所	備考
山田 太郎	男	25	学生	東京市豊田区	
田中 次郎	男	22	学生	東京市豊田区	
佐藤 一郎	男	20	学生	東京市豊田区	
鈴木 三郎	男	18	学生	東京市豊田区	
高橋 五郎	男	16	学生	東京市豊田区	
中村 七郎	男	14	学生	東京市豊田区	
小川 九郎	男	12	学生	東京市豊田区	
山本 十一郎	男	10	学生	東京市豊田区	
水野 十三郎	男	8	学生	東京市豊田区	
森田 十五郎	男	6	学生	東京市豊田区	
石川 十七郎	男	4	学生	東京市豊田区	
渡辺 十九郎	男	2	学生	東京市豊田区	

各課長殿

昭和十九年十月五日

豊田市

昭和十九年十月二日

各課長殿

厚生課

健康保険別府鐵輪寮指定件下

首題件ニ関シ大分縣健康保険課ニ於テ此度左記通り
療養所指定相成居候ニ付テハ御利用相成度貴課全
員ニ御周知方相煩度候

場所 別府市鐵輪健康保険別府鐵輪寮

利用範圍 一員傷疾等場合ノ療養（但シ結核性疾患
ニ病後ノ静養

入所手續 入所承認申請書（厚生課ニ在リ）ニ医師又ハ事務員
ノ意見ヲ添付シ入所ノ旨前送大分縣知事宛提出

診断通知書

(厳秘)

工 場 中津市大字永添
氏 名

負 傷 名
全 治 昭和 年 月 日
主 症 二 對 シ
兼 症 三 生 ゼ
サ リ シ ャ
其 症 狀

障 業 務 上

程 及 ボ ス モ ノ

度 業 務 外

各部次課長殿

厚生課

職能整正形外科診療関係件

首題件ニ関シ今般政府ニテハ肢休不自由者ニ對シ由起奉公ノ恩惠ヲ浴セシムルヲ左記要項ニヨリ職能整正形外科診療ヲ同右致矣ニ付テハ該當者(曾四ノ一ニ出アリタル者ヲ除ク)學生課宛申出タル様由手配相煩度矣

記

一 資格 學生年金保險(従前ノ労働年金保險)ノ被保險者又ハ被保險者ヲリシ者(職員ニテリテハ十月一日ヨリ被保險者ト相成リタル者ヲ除ク) 二 場所 別府市下年金保險學生團 三 治療費 二 無料 四 肢休不自由者 五 範圍

- 一 四肢骨断形治療者
- 二 四肢骨断形治療者
- 三 四肢骨断形治療者
- 四 四肢骨断形治療者
- 五 四肢骨断形治療者
- 六 四肢骨断形治療者
- 七 四肢骨断形治療者
- 八 四肢骨断形治療者
- 九 四肢骨断形治療者
- 十 四肢骨断形治療者
- 十一 四肢骨断形治療者
- 十二 四肢骨断形治療者
- 十三 四肢骨断形治療者
- 十四 四肢骨断形治療者
- 十五 四肢骨断形治療者
- 十六 四肢骨断形治療者
- 十七 四肢骨断形治療者
- 十八 四肢骨断形治療者
- 十九 四肢骨断形治療者
- 二十 四肢骨断形治療者
- 二十一 四肢骨断形治療者
- 二十二 四肢骨断形治療者
- 二十三 四肢骨断形治療者
- 二十四 四肢骨断形治療者
- 二十五 四肢骨断形治療者
- 二十六 四肢骨断形治療者
- 二十七 四肢骨断形治療者
- 二十八 四肢骨断形治療者
- 二十九 四肢骨断形治療者
- 三十 四肢骨断形治療者
- 三十一 四肢骨断形治療者
- 三十二 四肢骨断形治療者
- 三十三 四肢骨断形治療者
- 三十四 四肢骨断形治療者
- 三十五 四肢骨断形治療者
- 三十六 四肢骨断形治療者
- 三十七 四肢骨断形治療者
- 三十八 四肢骨断形治療者
- 三十九 四肢骨断形治療者
- 四十 四肢骨断形治療者
- 四十一 四肢骨断形治療者
- 四十二 四肢骨断形治療者
- 四十三 四肢骨断形治療者
- 四十四 四肢骨断形治療者
- 四十五 四肢骨断形治療者
- 四十六 四肢骨断形治療者
- 四十七 四肢骨断形治療者
- 四十八 四肢骨断形治療者
- 四十九 四肢骨断形治療者
- 五十 四肢骨断形治療者
- 五十一 四肢骨断形治療者
- 五十二 四肢骨断形治療者
- 五十三 四肢骨断形治療者
- 五十四 四肢骨断形治療者
- 五十五 四肢骨断形治療者
- 五十六 四肢骨断形治療者
- 五十七 四肢骨断形治療者
- 五十八 四肢骨断形治療者
- 五十九 四肢骨断形治療者
- 六十 四肢骨断形治療者
- 六十一 四肢骨断形治療者
- 六十二 四肢骨断形治療者
- 六十三 四肢骨断形治療者
- 六十四 四肢骨断形治療者
- 六十五 四肢骨断形治療者
- 六十六 四肢骨断形治療者
- 六十七 四肢骨断形治療者
- 六十八 四肢骨断形治療者
- 六十九 四肢骨断形治療者
- 七十 四肢骨断形治療者
- 七十一 四肢骨断形治療者
- 七十二 四肢骨断形治療者
- 七十三 四肢骨断形治療者
- 七十四 四肢骨断形治療者
- 七十五 四肢骨断形治療者
- 七十六 四肢骨断形治療者
- 七十七 四肢骨断形治療者
- 七十八 四肢骨断形治療者
- 七十九 四肢骨断形治療者
- 八十 四肢骨断形治療者
- 八十一 四肢骨断形治療者
- 八十二 四肢骨断形治療者
- 八十三 四肢骨断形治療者
- 八十四 四肢骨断形治療者
- 八十五 四肢骨断形治療者
- 八十六 四肢骨断形治療者
- 八十七 四肢骨断形治療者
- 八十八 四肢骨断形治療者
- 八十九 四肢骨断形治療者
- 九十 四肢骨断形治療者
- 九十一 四肢骨断形治療者
- 九十二 四肢骨断形治療者
- 九十三 四肢骨断形治療者
- 九十四 四肢骨断形治療者
- 九十五 四肢骨断形治療者
- 九十六 四肢骨断形治療者
- 九十七 四肢骨断形治療者
- 九十八 四肢骨断形治療者
- 九十九 四肢骨断形治療者
- 一百 四肢骨断形治療者

めくれず

各部課長殿
風水堂より工場
事業場並に各家塾等へ衛生處理方法
二閱文件

首題件三閱風歌並後漂米病案工八分然上ノ件、又之有ニ候ニ付、ハ左記方悉より使生至予防一切力尽ニ務置課金其同方内御意也

記

正統五年歲入一

住所又へ所在地
中澤市大字永盛二六〇番地
株式會社 神戸製鋼所中澤工場
事業主
(氏名又へ名譽) 事業主代理人 町 永 三 郎

B-5 18.10 (南風12C)

此字經前等諸君論定

卷之三

新刊

疾、早明、是、時、ハ、上

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

平江府志

卷之四

10

中村三三三 華島、平次、子、防注射の行、子、生、り

昭和十九年九月二十三日

厚
生
課

各課長殿

予用水混合クレソール配付条件

首題ノ件ニ關シ左記要項ヨリ配付致度矣
同九月二十五日醫務課ニテ受領相成度矣

記

一、手洗用水ハ、防空用水用樽ヲ使用スルコト
一、各課毎ニ適當ニ一個又ハ二個、割合ヲ配置シ置クコト
一、混合、割合ハ樽水一杯ニ付約二本——三本ノ割合トス

健康保險被保險者資格取得届 昭和 年 月 日現在

日現在

年 月

昭和

厩 盾

賃 借 取 得

休 隙 休 隙

康 休 隙

健 康 休 隙

國民健康
調査ノ記號

様式第四號

※標準年度欄

備考

月 額

計

定率

金額

種類

事業所

輕合金材製造業

交類

事由

金額

取得日

資格年月

生年月

被保險者ノ氏名

事業所

株式會社 神戶製鋼所中津工場

所在地

(名)

性別

年齢

職業

職階

職階

職階

厚道一九第六七号
昭和一九年九月一日

冬部課長殿

學生課

耶欽列車臨時運轉ノ件
標記ノ件昭和一九年九月一日ヨリ当分列車運轉ヲ左記ノ通り變更致事
ト相成候間貴課員へ周知方以取計相煩成
追而耶欽嶺坂以遠ハ相当被害アル爲復舊ヲ急ギツ、アルモ日時ヲ要ス
ル見込、日豐線ハ現在不明ニ付爲念申添候

中津真坂駅間

太真公園 馱老車時間

中津駅発車時間

上り(半津り)
下り(英坂り)

下リ（溪坂行）

二 一 一 一 一
0.八 五 三 0.八
四 0 三 四 三 0
五 0 五 0 五 0

二一一一
0.七四二九七
0一四四四一
六九二七二二

一一一一
九七四二九
四〇二二二
五〇〇五〇

めくられず

[illegible][illegible]

注意 二月一日以後健康保険、被保険者、資格ダケ取得ノ労働者年金保険、被保険者ト爲ラズル場合、照

學生課

各部課長殿

耶欽列車臨時運力時間通知ノ件
標記ノ件昭和一九年九月一日ヨリ当分列車運轉ヲ左記ノ通り變
ト相成候間貴課員へ周知方以取計相煩成
追而耶欽炭坑以遠ハ相当被害アル爲復舊ヲ急ギツ、アルモ日時
ル見込日量線ハ現在不明ニ付爲念申添候

中津真坂駅間

大真公園遊藝場時間

中津駅發車時間

上り(中津り)
下り(安坂り)

下リ（漢坂行）

二一一一一
0.八五三0.八
四0三三四
五0五0五0

二一一一一
0.七四二九七
0一四四四一
六九二七二二

九七四二九六
四〇二二二五
五〇〇五〇〇

めくられず

厚生部長發第七號
昭和十九年九月十二日

各部課長殿

産報雜誌より配布一件



厚生部長

眞ニ重大化セル現戦局ニ際シ生産現場ニ於ケル産業報國精神ノ徹底浸透及
之ガ具體的實行ニ關スル指導ノ一助トシテ大日本産業報國會發行チハ
（毎月三回）ヲ毎月貴課ニ配布致候ニ付之ガ適切ナル運用ニ依リ所期ノ目的ヲ
達成被下度此段御依頼申上候

尚又配後ニ於ケル配本ノ都合モ有之候間御使用請ノ上ハ翌月五日迄ニ
厚生課宛必ズ御返付被成下度候

順正一戊辰六月廿一日
郡守中丞奉此日十

清 照 天 興 縣

縣

具

出

署

照得本縣屬下各鄉鎮民人等

因本縣屬下各鄉鎮民人等

因本縣屬下各鄉鎮民人等

因本縣屬下各鄉鎮民人等

因本縣屬下各鄉鎮民人等

昭和十九年九月一日

各部課長殿

謹啓

一

二

三

理髪指定日徹夜ノ件

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

各部課長殿

厚生課

理髪指定日徹夜ノ件

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

昭和十九年九月一日

裏面白紙

以上

各課長殿

厚生課

表記ノ件ニ關シ左記日定表ニ依リ醫務課ニ於テ施行可致候條各課共実施願シ違漏ナキヲ期セラレ度候
 但學徒養成工及体力検査施行済者ハ除外ス

定期健康診断実施日割表

二日目		第一日目		回数
9月16日		9月15日		月日
午後	午前	午後	午前	時間
右全	防衛、倉庫押出、鍛造工管、各半数(男子)	右全	運輸、熔解、一丘、二丘、各半数(男子)	課別
361人		358人		入員

めくれず

三日目	四日目	五日目	六日目	七日目
9月17日	9月18日	9月19日	9月20日	9月21日
午前	午前	午前	午前	午前
午後	午後	午後	午後	午後
厚生労働部、衛生部、工務部、建設部、動力検査、分析、各半数(男子)	厚生労働部、衛生部、工務部、建設部、動力検査、分析、各半数(女子)	厚生労働部、衛生部、工務部、建設部、動力検査、分析、各半数(女子)	厚生労働部、衛生部、工務部、建設部、動力検査、分析、各半数(女子)	厚生労働部、衛生部、工務部、建設部、動力検査、分析、各半数(女子)
330人	240人	132人	175人	360人

注
○尚右実施二日前日ニ於テ ツベルクリン及能注射ヲ実施ス
各現場ニ於テ

各課長殿

厚生課

健康保険係ニ結核患者療養所設置願件

今日日本醫藥團經營ニ係ル結核療養所タル左記ノモノ七
月十七日附ヲ以テ保険者指定スル診療所トシテ指定相成矣
條費課全員ニ御周知方相煩度矣

追而希望者及結核性ニテ欠勤中ノモノヲ別紙ニ依リ御通知
相成度

尚右診療所取扱ニツキテハ一部員擔金ニ支拂ヲ要セ
ルモノニツキテハ念

記

二豊莊結核療養所 北海郡郡大在村大早横田
別府莊結核療養所 別府市大早濱脇

三 作業、都合に依り勤勞を強化せる場合上雖も大に限
 度ノ休養ハ之ヲ與フルモノトス
 (一) 常晝勤 月二日ノ公休
 (二) 晝夜勤 非番ノミ
 (三) 正午交替休ル晝夜勤 月二日ノ公休
 (四) 作業、都合に依り更に定休日ヲ減じ若ハ廢止セント
 スルトヤハ厚生部長經由所長ノ承認ヲ受ケルベシ
 (五) 定休日ト雖も出勤ヲ命ゼラレタル者ニ對シ出勤セサル場
 合ハ出勤トス
 (六) 代休ノ取扱ニ付テハ左記ニ依ル
 (一) 常晝勤者ニ對シテハ定休日ヨリ一週間以内トス
 (二) 晝夜勤者ニ對シテハ出勤日ヨリ二週間以内トス
 (三) 代休願ハ必ズ前日ニ提出スルモノトス
 付面着関係ニ付テ
 以上
 各日出勤者出張者ヲ以テテ午前日當務ニ報告ノフト

理髮日割表

昭和九年九月一日

指定日	指定課名及(理髮券發行限度枚數)
九月三日 一三日 二二日	熔解課(三〇枚)
四日 一四日 二三日	活材課(五枚) 工管課(八枚) 動力課(九枚) 検査課(四枚) 分析課(四枚)
五日 一五日 二五日	工務及能率課(三枚) 鍛造課(一三枚) 第一圧延課(一五枚)

一六日 二六日	押出課(三〇枚)
一七日 二七日	第三庄延課(三〇枚)
一八日 二八日	設備課(三〇枚)
一九日 二九日	在勤所(一枚)防衛課(二枚)庶務課(三枚) 會計課(一枚)購買課(三枚)倉庫課(一〇枚)
二〇日 三〇日	運輸(分遣隊ヲ含ム)二枚)勞務課(三枚)厚生課(七枚) 配給課(二枚)安全課(青年学校食)三枚)医務課(三枚) 訓練(二枚)

厚生部長発第四号
昭和十九年八月二五日

各部課長殿

厚生部長

耶鉄運轉時間改正ニ依ル就業時間ノ件
首題ノ件凡記ノ通り決定致候間此段及通達候也

記

一、常勤者

一、遅刻トシテ取扱ハサルモノ

二、入場 日豊線宇之島方面

時間 中津発七四五 大貞公園着八〇三

右ノ賃金ハ八三〇ヨリ支拂フモノトス

三、早退トシテ取扱ハサルモノ

○退場 耶鉄下り

時間 大貞公園発 一五 守実着 一九一二
右ノ賃金 六十六、三〇迄支拂フモノトス

○晝夜勤者

○早出トシテ取扱フモノ
○入場 日豊線

時間 中津発 一六四〇 大貞公園着 一七五八
右ノ賃金 六一時間出トシテ取扱フモノトス

○入場 耶鉄下り

時間 守実発 一五二五 大貞公園着 一七〇四
右ノ賃金 六一時間早出トシテ取扱フモノトス

○早退トシテ取扱ハサルモノ

○退場 日豊線

時間 大貞公園発 一五二五 中津着 一六三一
右ノ賃金 六十六、三〇迄ノ賃金ヲ支拂フモノトス

○退場 耶鉄下り

右ノ賃金 六十六、三〇迄支拂フモノトス

三 遅刻トシテ取扱フモノ

○入場

時間 耶鉄下り
守実発 一九三〇 大貞公園着 二二一八

ハ参考

晝夜勤別	通勤区分	就業時間	備考
常晝勤	宇島方面	九時間	
野路以遠	九時間		
(晝)夜勤	日豊線	十二時間	△早出 一時
	耶鉄大貞	十二時間	
	野路	十三時間	△早出 二時
	守実	十三時間	△早出 一時

備考

めくれず

一、待書、定時附ヲ十時附トシ晝夜勤ハ定時附
 ヲ十二時附トス
 一、△印ハ早退ノ取扱ヒラセズ

厚通一九零六二號
 昭和一九零八年八月二十四日

學生課

各部次課長殿
 一、各課指定期日
 二、各課指定期日
 三、各課指定期日
 四、各課指定期日

一、各課指定期日
 二、各課指定期日
 三、各課指定期日
 四、各課指定期日

理髮券
 料金 五錢也
 印 一〇月 〇日
 () 課

四、理髮券代金
 各課毎ニ指定日理髮券發行ノ部度現金ヲ徴収シ重キ指定日ノ翌日
 各課係ハ納入ノコト

Handwritten notes at the top of the page, including the date 1908 and other illegible characters.

一、常晝ヲ一定時附テ十時附トシ晝夜勤ハ定時附
ヲ十二時附トス
一、早退ノ取扱ヒラズ

[illegible]

學生課

今報各課，舞臺毛有之今後尤記，通

該當文字ヲ記入、上發行相成度
、部渡現金ヲ徴収シ置キ指定日、翌日

裏面白紙

めくられず

卷之八
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

學生課長

各部課長

養生監理上在寮男女一般工員及男女養生工並役
 身隊員ニ対シ映面親臨見券購買ハ今後念監
 ニ取扱フコト、致シ度候間御諒取上今
 知方御取計願上候

11

以下
尚途而(致)通
八入
午
前
後
概
才
分
毫
難
也
如
御
助
力
領
上
候

昭和十九年八月二十四日

厚生課長

各部課長殿

○ 寮生ニ対シ映画鑑見券取付
寮生、監理上在寮男女一般工員、男女寮生工並に授
身隊員ニ対シ映画鑑見券購買ハ今後急務
ニ取扱フコト、致シ度、前御諒承、上全
知方御取計 願上候

各節課長 殿

學生課長

男女養生二対九配給品取扱二関係一

標記件 閱 今後全部青年學校より

叔教其同其旨周知方御取計願上候

但長府三子勲、七、養正二年上公

許外敬

めくれず

[illegible]

厚
生
課

各課長殿

要検査被管理者運動機能検査執行件
首題、件二箇シ今回執行、体力検査受検者ノ運動機能検査ヲ
別記、通り執行致度矣。条全負洩レナク受検相成様御手配
方相煩度矣。(各課毎引卒ノ上出頭相成相念為申添矣)

松平定信公遺稿

上生豆折成材念於申添受

八月十五日	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ	溶解 押出、圧延、 元朝礼場、廣場	課 別 場 所
事務部、厚生部、検査、分拆、 森工、管設、備、勤、鍛進、治材			

めくられず

[illegible]

21	137	137	-
13	26	120	-
-	-	-	-
45	60	124	-
73	130	120	-
12	40	36	-
0	0	-	-

學生

各部次課長殿

遠隔地被保険者証交附申請の件
首題の件ニ関シ關係当局ヨリ通牒有
二ヨリ至急御通知方相煩度矣

遠隔地被保險者証文附申請書

遠隔地居住之被扶養者(既婚者)住所

各籍男婦

首級 中 國 三 合 回 轉 行 本 式 針 查 受 針 養 八 受

[illegible]

張氏

めくれず

昭和十九年六月二十六日

厚生課

購買課長殿

日植勤労奉仕隊應援依頼件

本日、御覧の如く、中ノ庄田植実地ニ當リ多数ノ奉仕隊應援
可成キ予定計劃完遂ヲ期スベシ處、豪雨ノタメ止ム可
中止仕候ニ付、是レハ繼續ヲ期スルニ至リ、天候ナレバ
何卒本日以止御奉仕ヲ願ヒ、度此ノ段應援ヲ及仰ル所也

記

一期日

明二十七日午前八時ヨリ(晴雨兼可)

一、募集場所

厚生課前広場

めくれず

一、事務科
 二、庶務科
 三、文書科
 四、印刷科
 五、庶務科
 六、庶務科
 七、庶務科
 八、庶務科
 九、庶務科
 十、庶務科
 十一、庶務科
 十二、庶務科
 十三、庶務科
 十四、庶務科
 十五、庶務科
 十六、庶務科
 十七、庶務科
 十八、庶務科
 十九、庶務科
 二十、庶務科
 二十一、庶務科
 二十二、庶務科
 二十三、庶務科
 二十四、庶務科
 二十五、庶務科
 二十六、庶務科
 二十七、庶務科
 二十八、庶務科
 二十九、庶務科
 三十、庶務科
 三十一、庶務科
 三十二、庶務科
 三十三、庶務科
 三十四、庶務科
 三十五、庶務科
 三十六、庶務科
 三十七、庶務科
 三十八、庶務科
 三十九、庶務科
 四十、庶務科
 四十一、庶務科
 四十二、庶務科
 四十三、庶務科
 四十四、庶務科
 四十五、庶務科
 四十六、庶務科
 四十七、庶務科
 四十八、庶務科
 四十九、庶務科
 五十、庶務科
 五十一、庶務科
 五十二、庶務科
 五十三、庶務科
 五十四、庶務科
 五十五、庶務科
 五十六、庶務科
 五十七、庶務科
 五十八、庶務科
 五十九、庶務科
 六十、庶務科
 六十一、庶務科
 六十二、庶務科
 六十三、庶務科
 六十四、庶務科
 六十五、庶務科
 六十六、庶務科
 六十七、庶務科
 六十八、庶務科
 六十九、庶務科
 七十、庶務科
 七十一、庶務科
 七十二、庶務科
 七十三、庶務科
 七十四、庶務科
 七十五、庶務科
 七十六、庶務科
 七十七、庶務科
 七十八、庶務科
 七十九、庶務科
 八十、庶務科
 八十一、庶務科
 八十二、庶務科
 八十三、庶務科
 八十四、庶務科
 八十五、庶務科
 八十六、庶務科
 八十七、庶務科
 八十八、庶務科
 八十九、庶務科
 九十、庶務科
 九十一、庶務科
 九十二、庶務科
 九十三、庶務科
 九十四、庶務科
 九十五、庶務科
 九十六、庶務科
 九十七、庶務科
 九十八、庶務科
 九十九、庶務科
 一百、庶務科

厚通一九五八年
 昭和九年八月一日
 各部次課長に殿

厚生課

理髪所開設ノ件

理髪所設置ニ関シテハ豫テ準備中、及今般関係方面、認可有之候間
 尤記要領ニ依リ開設致度就而貴課指定日時以利用相成様
 貴課員へ周知方以取計相煩度

- 一、理髪開始 記 八月一日
- 二、場所 検査部分折室及理髪所
- 三、利用者 職員及工員(男子)準備、都合女子ハ未定
- 四、各課指定日時 尤記順序
- 五、理髪所使用方法 別紙、通リ

各課別理髪指定日

指定日	前居別	課	名
-----	-----	---	---

めくれず

八月一日	午前	在勤所防衛課、庶務課、會計課、購買課、倉庫課、運輸課
	午後	勞務課、厚生課、配給課、安全課、医務課、工務課、能率課、訓練課、鍛造課
〃一日	午前	熔解課、工管課
	午後	第五課、動力課、検査課、分析課
〃二日	午前	押出課
	午後	治材課、第二圧延課
〃四日	午前	設備課
	午後	学徒
〃五日		右順序ヲ繰返ス 但シ公休日ヲ除ク

理髪券使用方法及理髪時間

一、理髪券購入
 厚生課ニ於テ毎日午前九時迄發行ス(公休日ヲ除ク)
 發行時間 午前中(五日分ハ十日分ハ十五日分迄發行ス)
 但シ發行枚制限ノ場合ハ時間前締切ルコトアリ

二、理髪券使用順序

理髪券購入(尤記現金)者ハ指定時間内ニ作業ニ支障ヲ来サ
 カル様所屈課長ノ認印(許可)ヲ受ケ理髪所係ハ理髪券
 ヲ手渡シ理髪所係到着及終了ノトキ理髪所係ハ理髪券ニ
 時間ノ記入ヲナシ本人ハ返還スルニ付帰着後所屈課長ハ該
 券ヲ提示シ返還スルモノトス

三、理髪料金

一、丸刈及髷剃金ニ五錢也ニ九割ニ金五錢也
 三、髷剃ニ金五錢也

四、理髪所始業終業休憩時間及公休日

一、始業 八時 終業 一八時
 休憩 一三時ヨリ四五分間
 公休日 一般公休ニ準ズ

以上

めくれず

昭和十九年八月六日
 厚生省
 労働省
 建設省
 逓信省
 文部省
 農林省
 陸軍省
 海軍省
 内務省
 司法省
 大蔵省
 逓信省
 文部省
 農林省
 陸軍省
 海軍省
 内務省
 司法省
 大蔵省

昭和十九年八月六日
 厚生省
 労働省
 建設省
 逓信省
 文部省
 農林省
 陸軍省
 海軍省
 内務省
 司法省
 大蔵省

各課長殿

自轉車通勤者数調査ノ件

首題ノ件ニ関シ左記様式ニ依リ八月七日迄調査ノ上
 當課へ報告相成度此段及御依頼候也
 記

一區	分	職	員	工	員
工場用自轉車数					
二料以上自轉車通勤者数					
二料以上自轉車通勤者数					

備考 用紙八便箋紙ニ可
 以上

中厚元通第三孫
 昭和十九年七月六日
 各部次課長殿
 甘諸餅献納謝禮二関人作
 養成工
 五〇
 役
 一五〇
 女子事務員
 一〇〇
 男子職員
 二〇〇
 課長
 三〇〇
 部次長
 五〇〇
 標準(全額以上供出差支ナ)

中厚元通第三孫
 昭和十九年七月六日

厚生課

各部次課長殿

甘諸餅献納謝禮二関人作

養成工 五〇

役 一五〇

女子事務員 一〇〇

男子職員 二〇〇

課長 三〇〇

部次長 五〇〇

標準(全額以上供出差支ナ)

自製車並...
昭和十九年七月六日

中厚元...
昭和十九年七月六日

厚生課

各部次課長殿

甘諸 餅献納謝禮ニ関スル件

去三月一日ヨリ五月十日ノ七十日間工場内ニ於テ配給サ
レシ甘諸ト餅ハ森下十二部ノ農家ヨリ自家食糧ノ
不足ヲ以テ航空機増産激勵ノ爲多量ニ献納サレシ
貴重ナル物ニシテ之ニ依リ我業ニ微夜ニ大ニ作業能率
ヲ上セル事ヲ得タリ依ツテ今一度従業員一同ノ感謝ノ
意ヲ表スル爲各農家ニ謝禮而贈呈致度
此等工場トシテ八同種献納品ヲ受ケタル他工場ノ謝禮
比較對象ニ左記標準ヨリ最低額ヲ定メ置キ候間
御下取計ヒ被下ニ提

此段及御願候也
記

一四月五日現在籍従業員ヨリ徴集ノコト

種別	金額
女子 挺身隊員	五〇以上
男子 工員	一〇〇
役 付	一五〇
女子事務員	一〇〇
男子職員	二〇〇
課長	三〇〇
部次長	五〇〇

標準額以上供出差支ナ

裏面白紙

厚通一九第四部
昭和十九年七月七日

各課長殿

厚生課

廿廿諸苗蔓配給件

標記ノ件各課経営並ニ自家使用ニ對シ配給致
候條乞記ニ依リ希望數量御申込ノ上御受取
被下度

記

一 通達日時 七月八日 午前十時迄
一 配給日時 月 日 午後四時ヨリ

中厚通一九第五六號
昭和十九年八月三日

各部次表

厚生部

女子従業員ノ募集運動ニ關スル件

近來女子従業員ノ募集運動人勞働者ノ募集ノ度ヲ縮小シ開クニ至ヘシキ旨
勸ヲナス者頗多ナルノ狀況ナルヲ圖中關係當局ニハ夫々手配並に監督厚
生部ニ於テハ不測ノ虞ヲ未然ニ防止致度而女子従業員ハ募集タル難度
ト自認ヲ持チ募集運動ニ歸宅スル激進表示相成度時ニ從步運動者ハ實數員
中ニテ適當ナル募集ヲ組織セシメラレ又少數ナル募集ニ於テハ他部ト合同
シテ募集運動方術既相續度此致反御願候也

めくれず

昭和
年
月
日

醫師住所氏名印

神戶式會社
製鋼所
中津工場御中

修飾事項

前項低率區分
ノ何レノ項目ニ
該當スルモノト
認メツルヤ
(機・工・料・費)
(成・上・下・歩)

負傷前二週及
其後用運動等
及水入低下等
區分

41.1%

10623

減、

10

(□)

$$10^\circ = 20^\circ$$

10. $\theta = 0$

減^レ。

· · · (八) · · ·

$$20^\circ = 40^\circ$$

減

$$(\quad =)$$
 $10^2 = 100$

減

· 欣 ·

(+)

002-50

•

減

(7)

$$s_0 p_0 = 10$$

減

各部課長

學生課

入線面指導影實施件

首題、片三箇三別紙記名者ハ國民体力法ニヨリX線
間接撮影史要所見有之候間左記要領ニヨリ受検
相成様御手配方相煩度候

記

八月一日	午前九時 午後一時	事心部學生部 檢査分析 工學各課 英語課 射撃課 英語課 英語課 英語課 英語課	中津市上宮永 中津保健所
八月二日	午前九時 午後一時	英語課 英語課 英語課 英語課 英語課 英語課	左 今

間接撮影八集選一括シテ旅行致ス予定ニ有之候間

各課人負人所定時間，必集合相成樣，經手配方。

相煩度候

めくられず

被保險者
トノ續柄

18.10 (南題12)

01
 02
 03
 04
 05
 06
 07
 08
 09
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524

Handwritten notes:

- 10-10-19
- 10-10-19
- 10-10-19

※ 申請又届が被扶養者ニシテ ルモノナルトキハ其ノ者ノ 氏名		被扶養者ノ 生年月日	被保險者 トノ被扶養者
--------------------------------------	--	---------------	----------------

右及申請候也

昭和 年 月 日

被保險者住
所氏名及印

殿

業務上ノ証明 申請が被扶養者ニシテ ノナルトキハ之ヲ證明 スルモノ	事業主ノ 住所及 氏名 及印
--	-------------------------

注意 一、一旦入院ノ承認ヲ受ケ其ノ後追加ノ申請ヲ爲スモノナルトキハ「入院追加承認申請」トスルコト
二、已ムヲ得ザル事由ノ爲承認ヲ受ケズシテ入院シタル場合ノ届出ハ「入院届」トシテ其ノ「已ムヲ得ザル事由」ヲ捺印欄ニ記載シ「右及申
請候也」ヲ「右及附届候也」トスルコト
三、申請又ハ届が被扶養者ニシテ「業務上外ノ別」欄ノ記載及之ニ關スル事業主ノ證明ヲ要セザルコト

月 25 日
 五 25
 空地在生かき増強食糧

参考

各司次課長殿

國民体力増強材料参考会

新法送付申上候

厚生課

45
 55
 67
 89
 10
 11
 12

10分板
 10.40
 10.36
 10.30
 10.20
 10.10
 10.00

五 月 25 日

空地在生かせ能力増強食糧増産

☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6
☐ 7 ☐ 8 ☐ 9 ☐ 10 ☐ 11 ☐ 12 ☐ 13
☐ 14 ☐ 15 ☐ 16 ☐ 17 ☐ 18 ☐ 19 ☐ 20
☐ 21 ☐ 22 ☐ 23 ☐ 24 ☐ 25 ☐ 26
☐ 27 ☐ 28 ☐ 29 ☐ 30 ☐ 31

参考
 各司次課長殿
 國民体力振興資料参考会 新刊送

45
 56
 67
 78
 89
 101
 110
 111

102-10
 103-10
 104-10
 105-10
 106-10
 107-10
 108-10
 109-10
 110-10
 111-10

厚
堂
課

4/8/10, 12
2000

改正國民勞力法概説説明（昭和十九年八月）

勞力管理ノ目的――政府ハ國民勞力向上ヲ圖ルヲ國民ノ勞力ヲ管理ス（法第一條）

改正ノ理由

一 大東亞戰爭完遂ノタメ兵力、勞力ノ確保
二 國民勞力之振興ノため、振興ノ徹底

勞力管理ノ意義

政府ハ國民ノ勞力ヲ檢査シ其ノ向上ニ付指導
其ノ他必要ナル措置ヲナスコト

勞力管理ノ範圍

勞力管理ノ範圍

本法施行範圍ニ於テ居住地ヲ有スル帝國臣民ニシテ昭和二十六年未滿
ノ男子及二十年未滿ノ女子（法第二條）

昭和十六年三月十九日勅令第二二二號ニヨリ勞子ノミニ限定サレタルノ他
昭和二十年四月九日勅令第二二二號ニヨリ發效サレル

（勞力檢査ヲ受ケルコト）

勞力管理ノ
範圍

昭和十九年十一月三十日ニ於テ昭和二十六年ニ達シナイ者（法第四條第一項）

四 一般管理 一年一回体力検査ヲ受ケル厚生大臣又ハ地方長官ノ指定シタ
工場、事業場ニ使用セラレル者ハ年二回受ケル

四 第一回ノ検査デツ反應陽性後一年以上経過シ結核性病變ノ認めラレナイ
者ハ免ケナクテヨイ (別記二條ノ二、三項)

四 徴兵検査ヲ受ケヌハ受クベキ管理業者ハ年一回デヨイ

四 体力手帳ノ保存及提示、男子ニアリテハ二十六年迄体力手帳ヲ保存シナケル

バナラヌ

四 体力検査ヲ受ケルトキニハ免ケセバナラヌ

四 体力向上ニ寄スル指示事項ヲ履行スルコト

四 派員ニ命ズル要領命令事項ヲ履行スルコト

四 成年者タル管理業者ニ付親類ヲ行フ者及後見人

保
護
者
ノ
意
義
及
機
關

一 成年ニ達シタ管理業者ニ對シテハ保護者制度ヲ設ケナイ

四 体力検査ヲ受ケサセヌハ検査後ノ措置ヲ履行サセル義務ガアル

四 一ノ検査メノ他官力管理ニ關スル新ニ從ヒス

四 地方官ニ委任シテハ原則トシテ地方長官ニアル

四 検査メノ他ノ業務ヲ行フニ於テ之ヲ委任スル場合ガアル (令第十三條)

四 検査メ、徴兵、警察等ノ事務主メノ管理人デ地方長官ヨリ官力検査履行ヲム

四 官力検査メハソコニ使用セラレザル管理業者ノ官力検査履行ハナケレバナ

四 一 (法第三條第一項)

四 検査メハ四十人以上ヲ使用スル事業主又ハ管理人ハ其ノ検査後管理

四 地方長官ニ關シテケレバナラヌ (令第三條)

四 自四月一日起ノ間ニ定メラレシ

四 自五月一日起ノ間ニ定メラレシ (令第六條)

四 自十月三十日迄ノ間ニ定メラレシ

四 官力検査メハ官力検査メハ疾病異常検査

四 (官力検査履行順序例)

四 一 官力検査注射、身体計測

四 二 官力検査結果、問接検査 (前同ノ検査メ反應陽性ノ者
今同ノ検査メ反應陽性、疑陽性ノ者)

四 一般管理事務の年一回体力検査ヲ受ケル厚生大臣又ハ地方長官ノ指定シテ
二 労働、事業場ニ便用セラレル者の年二回受ケル

四 第一回ノ検査ヲ受ケテ反應陽性後一年以上経過シ結核性病變ノ認めテレナイ
キハ受ケナクテヨイ（則ち第二條ノ二項ニ準ジ）

四 衛生局長検査ヲ受ケテ又ハ受クベキ管理事務ハ年一回デヨイ

四 体力手帳ノ保存及提示、男子ニアリテハ二十六年迄体力手帳ヲ保存シナケ
バナラヌ

（体力検査ヲ受ケルトキニハ指示セバナラヌ）

四 体力向上ニ關スル指示事項ヲ履行スルコト

四 労働ニ關スル健康命令事項ヲ履行スルコト

保 護 者 ノ 意

義 務 及 義 務

未成年者タル管理事務ニ付親權ヲ行フ者及後見人

一 成年ニ達シタ管理事務ニ對シテハ保護者制度ヲ設ケテイ

体力検査ヲ受ケサセヌハ検査後ノ措置ヲ履行サセル義務ガアル

一 労働者ノ健康ニ關スル管理事務ニ關スル新ニ設ケル

一 労働者ノ健康ニ關スル管理事務ニ關スル新ニ設ケル

一 労働者ノ健康ニ關スル管理事務ニ關スル新ニ設ケル

一 労働者ノ健康ニ關スル管理事務ニ關スル新ニ設ケル

一 労働者ノ健康ニ關スル管理事務ニ關スル新ニ設ケル

一 労働者ノ健康ニ關スル管理事務ニ關スル新ニ設ケル

一 労働者ノ健康ニ關スル管理事務ニ關スル新ニ設ケル

一 労働者ノ健康ニ關スル管理事務ニ關スル新ニ設ケル

一 労働者ノ健康ニ關スル管理事務ニ關スル新ニ設ケル

一 労働者ノ健康ニ關スル管理事務ニ關スル新ニ設ケル

一 労働者ノ健康ニ關スル管理事務ニ關スル新ニ設ケル

一 労働者ノ健康ニ關スル管理事務ニ關スル新ニ設ケル

一 労働者ノ健康ニ關スル管理事務ニ關スル新ニ設ケル

（体力検査進行順序例）

第一日 ツ反應注射、身体計測

第二日 ツ反應判定、問接検査（前同ノ検査ヲ反應陽性ノ者
今回ノ検査ヲ反應陽性ノ者、疑陽性ノ者）

疾病異常検査、荷重進行

一、検査法（病状性疾患、花柳病、梅毒、淋病、結核、肺病、癩病、皮膚病、眼病、耳病、鼻病、口病、咽喉病、食道病、胃腸病、肝臓病、胆道病、腎臓病、泌尿器病、婦人科病、小児科病、その他）

二、検査法（病状性疾患、花柳病、梅毒、淋病、結核、肺病、癩病、皮膚病、眼病、耳病、鼻病、口病、咽喉病、食道病、胃腸病、肝臓病、胆道病、腎臓病、泌尿器病、婦人科病、小児科病、その他）

三、検査法（病状性疾患、花柳病、梅毒、淋病、結核、肺病、癩病、皮膚病、眼病、耳病、鼻病、口病、咽喉病、食道病、胃腸病、肝臓病、胆道病、腎臓病、泌尿器病、婦人科病、小児科病、その他）

四、検査法（病状性疾患、花柳病、梅毒、淋病、結核、肺病、癩病、皮膚病、眼病、耳病、鼻病、口病、咽喉病、食道病、胃腸病、肝臓病、胆道病、腎臓病、泌尿器病、婦人科病、小児科病、その他）

五、検査法（病状性疾患、花柳病、梅毒、淋病、結核、肺病、癩病、皮膚病、眼病、耳病、鼻病、口病、咽喉病、食道病、胃腸病、肝臓病、胆道病、腎臓病、泌尿器病、婦人科病、小児科病、その他）

六、検査法（病状性疾患、花柳病、梅毒、淋病、結核、肺病、癩病、皮膚病、眼病、耳病、鼻病、口病、咽喉病、食道病、胃腸病、肝臓病、胆道病、腎臓病、泌尿器病、婦人科病、小児科病、その他）

体力向上ニ関スル基本

地方長官ハ体力検査、規則第五十條ニ定ムル体力ニ基キスル検査

又ハ他ノ法令ニヨリ醫師ヨリノ患者診斷ノ圖出ニ基キ必要アリト認ムルトキハ後
検査者ニ付本人又ハ保護者ニ對シ國又ハ公衆團體ノ体力向上ニ關スル施設ノ利用
熱心ノ進取又ハ時間ノ制限、藥料ノ費更其ノ他体力向上ニ關シ指示ヲナスコトヲ
得（法第十一條）

体力向上

目的 体力検査ノ結果筋骨薄弱者ト認メラレル青年ノ体力ヲ向上セシメルコト

検査

目的 トシ体力向上施設トシテ地方長官ガ監督スルモノデア
筋力検査ニ於テ体力向上施設會參加ノ者アリト判定サレタル者ハ毎年
健康修養會參加ノ要否判定規定サレ之ニヨリ筋骨薄弱者、結核要
患者ノ
注意者ニ分タレ修養會參加サレタル（法第十一條）

他

一、コノ八月カラ筋骨薄弱者及結核要患者ノ中結核要患者ノ展アル者ヲ收容スル修養
所ガ開設サレル等デアリ結核要患者ノ中結核要患者ナル者ニツイテハ十月カラ
健康修養所ガ開設サレルコトニナツテヨリマス

中厚通一九第五五號
昭和十九年七月三十日

厚生部 (中井)

各部次課長殿

生葡萄酒試食並盜食嚴重禁止ニ関スル件

生葡萄酒ヨリハ酒石酸ヲ精製シ緊急重要兵器ノ原料ト致ス
コト相成リ全國ニ亘リ之レカ供出指令發セラレ候處當工
場敷地内ニモ相當數量ノ葡萄酒育成中ニテ採集モ間近
キ折柄全粒完全ニ供出致度曩キ軍需監理官殿ヨリ嚴
重ナル御達示モ有之貴課所屬課員ニ對シ試食又ハ盜食等
ノ不都合ナキヤウ重ネテ御示達相成度此段及通達候也

二、一、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

厚生課

各部次課長殿

歌指導會開催，件

今般縣產報轉旋ニ依リ、各代、海征ノハ、其他歌ノ正シイ
歌ニ方指導ニ講師派遣致サル由中津警察署ヨリ通報有
之。燦候條尤記要領依リ、閣催致候ニ付、貴課女子従業員
ハ周知方御取計、被下度此段及御願候也。

記

一日 時 七月二十八日 一二時三十分(休憩時間) 約一時間

一日 時 七月二十八日 一二時 三十分 休講
二場 所 厚生部 事務所 教室
三受講者 女子職員及女子工員
一講 師 島田 龍之助 氏

島田龍之助氏

めくられず

[illegible]

卷之三

卷

名部
長殿

[illegible]

龍

習余意及之

昭和一九年七月一七日
厚田一九第四九號

各部次課長殿

女子ノミニ回覧

厚生課

女子理髪従事者希望者急募

今般工場内ニ理髪所ヲ設置致シ全従業員ノ便宜ヲ計リ夜計画中ノ
處女子一理髪従事者ヲシテ通電ナル者無之候間工場内職工員
ノ中希望者アラバ左記ニ依リ至急申込方以取計賜及申願申上候

左記

一 中込資格者 女子職工員(未経験可)

二 中込期日 七月一九日迄

三 中込場所 厚生課

四 採用者 若干名

追而右希望者多数ノ場合ハ敎達ノ上決定ス
尚待遇等ニ関シ不明ハ學生課問合セ被下候

厚子生課

ナルニハガ出等ハ云ス

女子理髮從事希望者急募八件

髪所ヲ設置致シ全従業員ノ便宜ヲ計リ夜計畫中ノ
取次從事者トシテ通電ナル者無ク候間工場内職工員
ヲバ先記ニ依リ至急申上之方以取計賜成事願申上候

女子職工員（未經驗可）

厚
生
課

大東家
大西家
大南家
大北家
大東家
大西家
大南家
大北家

希望者多數ノ場合ハ教壇ノ上決之ス
不_レ明_ニ不明ノ莫_クハ学生課ニ問合セ被_レ下_レ致

昭和十九年七月一日

各課長殿

体力検査執行ノ件

首題ノ件ニ関シテハ去月二十八ヨリ之ヲ實施致候モ
 受檢セラル者多數有之事業主ニ少ナカラサルモ悉
 及木又欠第ト相成候ニ付テハ別紙名簿記載者ハ
 左記日割ニ必又受檢相成様御手配相煩度此段及
 追而市町村ト関係有之候ニ付當日長欠者欠勤者ハ
 名簿記載相成度

厚生課

二月	自八時至十二時	事務部厚生部防衛分析検査部	勤務課	ソールリ洋射
〃	自十三時至十七時	設備部	押出	鍛造
七月	自八時至十二時	自十三時至十七時	十九日午後	各課
〃	自十三時至十七時	十九日午後	各課	〃

めくれず

各課長
女子事務班勤務者仕儀依頼方へ件
厚生課農園部管内積園係珠二院若廣畑南畑等、同様に
粗草繁茂、其を刈り取、肥料に属員三人、千通水着、不図却致、是
條より莫課女子事務班奉仕隊一應援手仰下度、左記計画
ニ依り御依頼方相願上候也

受領係兼系及分置
美樹園
一所
葉摘機有り收穫
雜草取り
里子
四町方
施肥中耕
雜草取り
七月十五日
二十日迄十日間
女子事務班貧半敷交す入
午後四時より六時迄
農園詰所（収倉前）

期同
奉仕隊編成要員已分
集合場所

めくれず

原本不明瞭

學通第一九第四五號

昭和十九年七月十三日

厚生部

購買

課長殿

貴課配屬男女養成工勤勞奉仕依頼方件

急迫セル農園夏期作植付準備、夕々貴課配屬男女養成

成工勤勞奉仕仰度允託豫定計畫書相添此段及涕依頼

記

候也

一受援作業名分量

甘藷

二町歩

大豆

二町歩

耕地、整地及植付

一勤勞隊執務概要要

一期間七月十四日より二十二日止九日間

首題一件二関別紙計十五表、通一體力検査執行致度候
各課適宜御手配方相煩度候
備考

各課每級管理省名簿添付致候付記載ノ人負ハ洩_ナ出頭_ナス
様御取計願度

手帳所有者八當日以不持參致之捕衙同知方相煩度
昭和十九年度体力検査施行目程表

二八日	八時——十二時	事務部 設備課	場所
二八日	十三時——十七時	學生部 防衛検査分折業務 鍛造動力	
二九日	八時——十二時	學生部 設備課	
二九日	十三時——十七時	事務部 設備課	
三〇日	八時——十二時	學生部 防衛検査分折業務 鍛造動力	
一日	十三時——十七時	事務部 設備課	場所

めくられず

めくれず

健康保険家族診療券																																																				
被保険者氏名			被保険者ノ氏名			健康受給者ノ氏名																																														
切取線																																																				
健康保険家族診療券																																																				
所轄府縣(出張所)又ハ健康保険組合ノ名稱			大分縣																																																	
被保險者資格取得年月日			昭和 年 月 日																																																	
事業所ノ所在地			中津市大字永添二番地 三六〇二番																																																	
職 業																																																				
生年月日			年 月 日			被保險者トノ続柄			男 女																																											
考																																																				
年 月 日交付 住所又ハ所在地 氏名又ハ名稱 中津市大字永添二六〇二番地 株式会社神戸製鋼所中津工場 株式會社神戸製鋼所中津工場 所長 町 永 三 郎																																																				
昭和 年 月分健康保険家族診療報酬請求書 (健)																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>病 名</th> <th>發 病</th> <th>初 診</th> <th>開 始</th> <th>終 了</th> <th>當 療</th> <th>診 数</th> <th>持 歸</th> <th>入 院</th> <th>退 院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>年 月 日</td> <td>年 月 日</td> <td>年 月 日</td> <td>年 月 日</td> <td>年 月 日</td> <td>日</td> <td></td> <td>年 月 日</td> <td>年 月 日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>年 月 日</td> <td>年 月 日</td> <td>年 月 日</td> <td>年 月 日</td> <td>年 月 日</td> <td>日</td> <td></td> <td>年 月 日</td> <td>年 月 日</td> </tr> </tbody> </table>										病 名	發 病	初 診	開 始	終 了	當 療	診 数	持 歸	入 院	退 院		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	日		年 月 日	年 月 日		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	日		年 月 日	年 月 日													
病 名	發 病	初 診	開 始	終 了	當 療	診 数	持 歸	入 院	退 院																																											
	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	日		年 月 日	年 月 日																																											
	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	日		年 月 日	年 月 日																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>點 數</th> <th>審査決定點數</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="10"></td> </tr> <tr> <td>診</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>服</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>針</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>置</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>膏</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>敷</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注射器</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">被扶養者負擔額</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">請求者 住所氏名</td> <td colspan="2">(印)</td> </tr> </tbody></table>										種 類	點 數	審査決定點數	備 考	診				診			服			針			置			膏			敷			注射器									被扶養者負擔額			円	請求者 住所氏名		(印)	
種 類	點 數	審査決定點數	備 考																																																	
診																																																				
診																																																				
服																																																				
針																																																				
置																																																				
膏																																																				
敷																																																				
注射器																																																				
被扶養者負擔額			円																																																	
請求者 住所氏名		(印)																																																		

18.10 (市編12)

め
く
れ
ず

399157

509.1

